

茅野市公共施設再編計画 (仮称) (概要版)

たたき台

2019年度～2028年度
(令和元年度～令和10年度)

令和元年7月
茅野市

目 次

第1章 公共施設再編計画について

1

1 計画の目的

2 計画の位置付け

3 計画の期間

4 計画の対象施設

5 計画策定に当たっての基本的な考え方

6 備考

第2章 施設分類ごとの展開

8

第1章 公共施設再編計画について

1 計画の目的

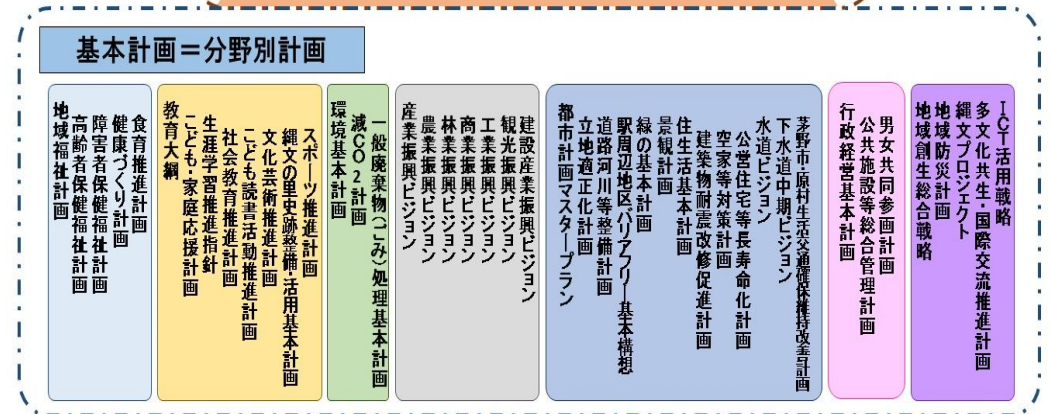
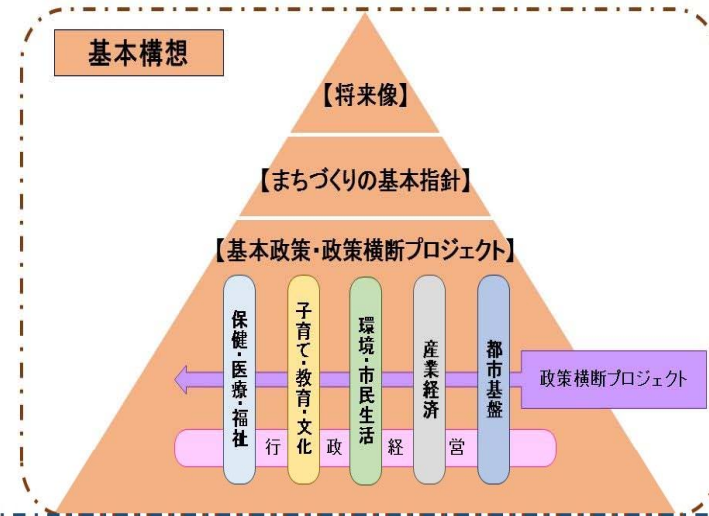
本市の公共施設の総数は約 210 施設におよび、今後、一斉に大規模改修や更新の時期を迎えます。しかし、人口減少や少子高齢化が進むことにより、市の財政は一層厳しさを増すなかで、現在保有する全ての施設を将来にわたってそのまま維持していくことは大変難しい状況となります。

このため、平成 29 年（2017 年）2 月に策定した「茅野市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」に基づき、市民の貴重な財産である公共施設を、次代の市民に健全な状態で継承するため、「茅野市公共施設再編計画（以下「本計画」という。）」を策定します。

2 計画の位置付け

本計画は、市の最上位計画である「第5次茅野市総合計画」を踏まえ、総合管理計画で定めた、公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針に即して策定します。

なお、本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」に基づく個別施設計画として位置付けます。

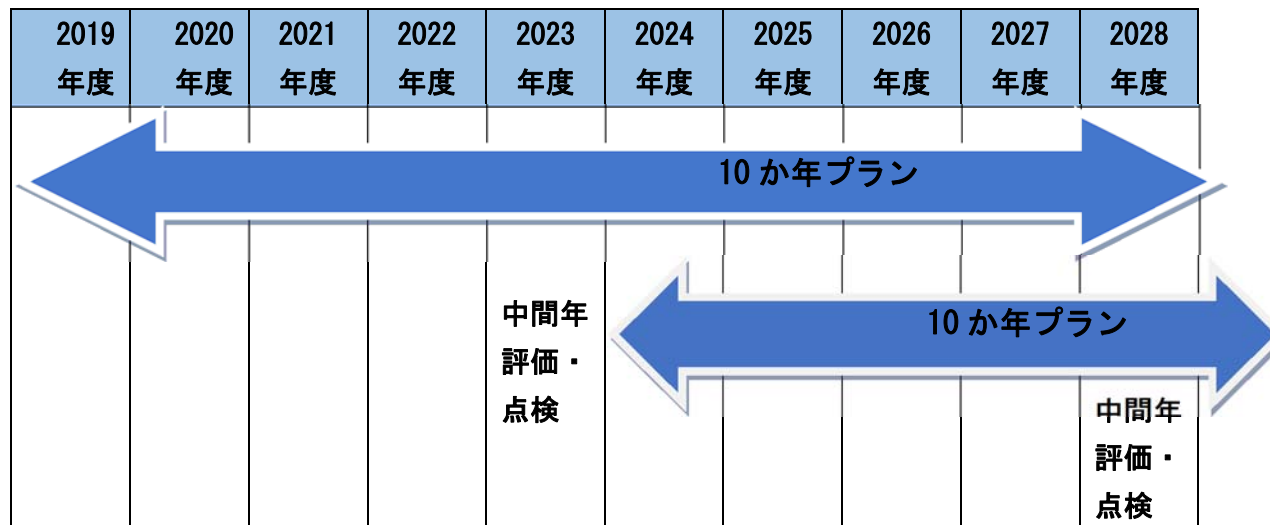


3 計画の期間

上位計画である総合管理計画は、2017年度（平成29年度）から2036年度（令和18年度）までの20年間を計画期間としています。

本計画は、2019年度（令和元年度）から2028年度（令和10年度）までの10年間を計画期間とします。また、5年後には評価・点検を行い、その時点から新たな10か年計画を策定し継続して取り組みます。なお、毎年度計画の進捗状況等について点検・検証し、適宜見直しを図ります。

【計画期間のイメージ】



4 計画の対象施設

総合管理計画に掲げた公共施設のうち、一部事務組合の施設（6施設）や都市公園施設、売却や除却済みの施設などを除く、下記214施設、約25万㎡とします。

施設類型	施設分類	施設数	延床面積(㎡)	施設名	ページ
1 学校教育施設	1 小学校施設	9	59,054.15	茅野市立永明・宮川・米沢・豊平・玉川・泉野・金沢・湖東・北山小学校	8
	2 中学校施設	4	34,474.67	茅野市立永明・長峰・北部・東部中学校	10
	3 その他の教育施設	2	(139.00)	フレンドリールーム、茅野市適応指導教室	11
2 社会教育施設	1 公民館施設	1	2,750.73	茅野市中央公民館	12
		10	-	ちの・宮川・米沢・豊平・玉川・泉野・金沢・湖東・北山・中大塩地区公民館	
	2 図書館施設	1	1,613.60	茅野市図書館	13
		10	(431.00)	ちの・宮川・米沢・豊平・玉川・泉野・金沢・湖東・北山・中大塩分室	
		1	(236.64)	茅野市民館図書室	
3 博物館施設	3	6,717.43	茅野市尖石縄文考古館、茅野市八ヶ岳総合博物館、茅野市神長官守矢史料館	15	

施設類型		施設分類		施設数	延床面積(m ²)	施設名	ページ
2	社会教育施設	4	スポーツ施設	12	14,737.16	茅野市運動公園野球場・プール・弓道場・総合体育館・広場野球場・陸上競技場・相撲場・国際スケートセンター・ゴルフ練習場・バッティングセンター・屋内ゲートボール場、茅野市体育練成館	17
		5	男女共同参画センター施設	1	(58.00)	男女共同参画センター	21
		6	自然体験施設	2	3,411.42	茅野市千駄川自然学校、茅野市青少年自然の森	21
		7	その他の社会教育施設	3	1,317.47 (1,259.00)	アクアランド茅野(カルチャーセンター)、茅野市運動公園野外音楽堂 茅野市北部生涯学習センター	23
3	保健福祉施設	1	老人福祉施設	3	9,042.11	茅野市高齢者福祉センター塩壺の湯、茅野市寿和寮、介護老人福祉施設ふれあいの里	24
		2	保健施設	1	1,293.00	茅野市健康管理センター	25
				4	(382.00) 2,157.05	茅野市東部・中部保健福祉サービスセンター 茅野市西部・北部保健福祉サービスセンター	
		3	温泉施設	6	5,603.57	アクアランド茅野、河原温泉河原の湯、金沢温泉金鶏の湯、尖石温泉縄文の湯、玉宮温泉望岳の湯、米沢温泉塩壺の湯	27
4	病院	1	診療所施設	3	(772.00) 138.72	リバーサイドクリニック、北山診療所 泉野診療所	29
5	住宅施設	1	市営住宅施設	5	19,394.95	ひばりヶ丘団地(旧)(新)、みどりヶ丘団地、小坂団地、サンコーポラス旭ヶ丘	30
6	子育て支援施設	1	保育所施設	15	16,684.00	茅野市ちの・宮川・玉川・湖東・豊平・中央・米沢・金沢・泉野・北山・小泉・宮川第二・中大塩・笹原・みどりヶ丘保育園	32
		2	学童クラブ施設	13	(947.00)	茅野市第一永明・第二永明・第一宮川・第二宮川・米沢・豊平・第一玉川・第二玉川・第三玉川・泉野・金沢・湖東・北山小学校学童クラブ	34
				1	(128.00)	茅野市養護学校学童クラブ	
				休止		茅野市中大塩学童クラブ	
		3	こども館等施設	1	(1,219.09)	茅野市こども館0123広場	36
				1	(770.18)	茅野市こども館CHUKOらんどチノチノ	
				10	(431.00)	ちの・宮川・米沢・豊平・玉川・泉野・金沢・湖東・北山・中大塩地区こども館	
				1	726.97	茅野市家庭教育センター	
4	発達支援センター施設	1	(303.00)	やまびこ園	38		
5	病児病後児施設	-	-	-	39		
7	行政系施設	1	行政系施設	1	15,471.98	茅野市役所	39
				1	(56.00)	茅野駅前ベルビア出張所	
				9	(224.00)	宮川・米沢・豊平・玉川・泉野・金沢・湖東・北山・中大塩出張所	
		2	教職員住宅施設	14	1,777.41	塚原・塚原第3・宮川茅野・鋳物師屋・小堂見第1・小堂見第2・下槻木第1・下槻木第2・下槻木第3・金沢本町・青柳・堀第2・菅沢・中大塩教職員住宅	41
3	倉庫施設	14	1,522.76	市役所北倉庫、防災倉庫、中沢倉庫、上川プレハブ倉庫、ちの・宮川・米沢・豊平・玉川・泉野・金沢・湖東・北山・中大塩水防倉庫	43		
8	文化・芸術施設	1	文化・芸術施設	1	10,825.64	茅野市民館	45

施設類型	施設分類	施設数	延床面積(m ²)	施設名	ページ		
9	コミュニティ施設	1	コミュニティ施設	10	7,138.70	ちの・宮川・米沢・豊平・玉川・泉野・金沢・湖東・北山・中大塩地区コミュニティセンター	46
		2	市民活動センター施設	1	1,832.41	ひと・まちプラザ	47
10	衛生施設	1	衛生施設	2	1,762.50	古紙類等梱包施設、茅野市清掃センター不燃物処理場	49
				1	456.66	茅野環境館	
				1	891.00	蓼科有機センター	
		2	墓地施設	1	106.50	茅野市永明寺山公園墓地	50
		3	公衆トイレ施設	20	632.60	麦草峠駐車場公衆トイレ、蓼科湖公衆トイレ、白樺湖南側駐車場公衆トイレ、白樺湖入口公衆トイレ、蓼科中央高原観光案内所横公衆トイレ、プール平駐車場公衆トイレ、奥蓼科登山口公衆トイレ、奥蓼科公衆トイレ、横谷観音駐車場前公衆トイレ、杖突峠晴ヶ峰公衆トイレ、天狗岳登山口バイオトイレ、蓼科山登山口バイオトイレ、桜平中駐車場トイレ、青柳駅公衆トイレ、白樺湖観光センター下公衆トイレ、八子ヶ峰案内所内公衆トイレ、八ヶ岳山荘公衆トイレ、車山山頂公衆トイレ、茅野駅西口公衆トイレ、茅野駅東口公衆トイレ	51
11	観光・産業施設	1	観光施設	1	2,070.04	茅野市白樺湖温泉総合施設	52
		2	商業施設	1	22,091.91	ベルビア	53
		3	その他の産業施設	1	(584.00)	茅野市コワーキングスペース	54
12	その他施設	1	駐車場施設	2	567.24 (7,581.00)	茅野市営茅野駅前駐車場 茅野市営地下駐車場	55
				2	情報プラザ施設	1	(171.00)
		3	普通財産施設	8	2,510.89	旧茅野高等職業訓練校、宅老所なごみの家、あすなろセンター、ピアあすなろ、ふくろう玉川(3)、移住体験住宅	57
計				214	248,775.24		

※ 表中、延床面積欄の()内の数字は、複合施設のため、他の施設分類に延床面積が計上されています。

※ 公共施設等総合管理計画に記載の市営住宅面積との相違について、ひばりヶ丘団地(新)E棟が、寿和寮に含まれていたこと、また、平成29年度にひばりヶ丘団地(旧)の一部を除却していることが原因です。

※ 公共施設等総合管理計画に記載の施設数(185施設)は、複合施設の場合「1」とカウントしています。

5 計画策定に当たっての基本的な考え方

(1) 施設の点検・評価

公共施設は、まちづくりの施策実現に向けた手段として設置するものであることから、施設で行われているサービス(機能)と施設の性能(建物)の双方の観点から最適化を図ることとし、各施設の現状を「安全性」、「必要性」、「有効性」、「効率性」の視点から点検し、さらに6つの観点から総合的に検討し、施設ごとの方向性を示します。

【施設の点検・評価のポイント】

①施設の「安全性」

- ・耐震性の状況
- ・老朽化の状況
- ・バリアフリー化、省エネ化の状況
- ・土砂災害等の危険区域の該当・非該当

②施設の「必要性」

- ・施設の設置目的に即した使用内容になっているか
- ・当該施設でなければできない事業か
- ・他の施設でも類似したサービス、事業を実施していないか
- ・当該サービスは、市が関与しなければならないか

③施設の「有効性」

- ・施設を構成する各室の利用状況や稼働率は適切か
- ・特定の団体が特定の部屋を占有していないか
- ・利用者が地域住民に限定されていないか
- ・当該施設の周辺に機能が類似する施設はないか
- ・当該施設で他の機能との複合化は可能か

④管理運営の「効率性」

- ・管理運営に民間活力の活用はできないか
- ・地域に管理運営を委ねることはできないか
- ・借地料を含め、維持管理コストは適切か
- ・受益者負担は適切か
- ・収入の確保対策は行っているか

(2) 施設再編の検討の留意点

①まちづくりの施策における公共施設の役割

茅野市総合計画に掲げるまちづくりの施策を実現するための公共施設の役割にかなった使い方となっているか、効果が上がっているか。

②市民サービスの低下をきたさない

仮に施設の継続が困難な場合で、実施しているサービス（機能）が必要な場合は、代替策を検討し、提示する。

③施設を、「点」でなく、「面」的に見る

「会議ができる場所」「運動ができる場所」というような施設の機能に着目し、施設の多機能化、複合化を図る。

④「時間」と「空間」を使いきる

今後も使用可能な施設は、大規模な改修が必要となるまで使用する。「必要性」や「有効性」が高い施設で今後も使用可能な施設は長寿命化を図る。空いて

いる時間を有効に活用できるように、施設の多機能化、複合化を図る。

⑤費用対効果の検証

大規模改修の費用や耐震化、バリアフリー化、省エネ化などの費用と、適正な規模にして建て替えた場合のコスト比較を行なう。
借地の場合、借地を継続するか、公有地化するか、移転するかを検討する。

⑥多様な管理運営手法の検討

施設の管理運営体制について、直営管理、民間委託（指定管理を含む）、地域による自主管理、民営化などの手法を検討する。

(3) 削減目標

調整中

6 備考

施設分類ごとに平成28年度末（2016年度末）の状況（一部の施設を除く）を整理しています。

施設名	地区	建設年	経過年数 (年)	耐用年数 (年)	延床面積 (㎡)	運営形態	職員数 (人)	支出額 (千円)	収入額 (千円)	差引収支 (千円)	利用者数 (人)	利用状況
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	

- ① 施設名 公共施設の名称
- ② 地区 ちの、宮川、米沢、豊平、玉川、泉野、金沢、湖東、北山、中大塩
- ③ 建設年 主な建物の建設年
- ④ 経過年数 平成29年1月1日を基準とした経過年数
- ⑤ 耐用年数 減価償却資産の耐用年数表による耐用年数
- ⑥ 延床面積 主な施設のほか、軽微な倉庫や物置を含む延床面積
- ⑦ 運営形態 直営、指定管理、貸付、無償貸与
- ⑧ 職員数 施設にいる正規職員、再任用職員、嘱託職員、臨時職員数 「正」は正規職員、「再」は再任用職員、「嘱」は嘱託職員、「臨」は臨時職員を表す
ただし、スポーツ施設、野外音楽堂、住宅施設については、施設管理に携わる職員数
- ⑨ 支出額 平成28年度の施設管理に係る支出額（施設管理に係る職員の人件費を含む）
ただし、その他の教育施設、病院、保育園、学童クラブ、こども館、発達支援センターは、事業を行っている職員の人件費を含む
- ⑩ 収入額 平成28年度の収入額
- ⑪ 差引収支 ⑩ 収入額 - ⑨ 支出額
- ⑫ 利用者数 平成28年度の利用者数

第2章 施設分類毎の展開

1 学校教育施設

(1) 小学校施設 【所管：学校教育課】

ア 施設概要及び現状と課題

義務教育小学校として、9校設置しています。各学校にプールを設置し、年間40日程度のプール指導を行っているほか、給食は自校調理方式（調理業務は委託化）で年間200日程度実施しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円) ※	収入額(千円)	差引収支(千円)	児童数(人)	利用状況
①茅野市立永明小学校	ちの	S48	43	47	8,431	直営	臨2	16,392	0	▲ 16,392	604	普通教室25室、特別教室14室、2学童クラブ、プール指導日40日程度、給食日数200日程度、コミュニティスクール活動
②茅野市立宮川小学校	宮川	S51	40	47	9,684	直営	正1、臨2	14,202	0	▲ 14,202	671	普通教室27室、特別教室17室、2学童クラブ、プール指導日40日程度、給食日数200日程度
③茅野市立米沢小学校	米沢	S56	35	47	5,795	直営	正1、臨1	11,822	0	▲ 11,822	255	普通教室14室、特別教室8室、1学童クラブ、プール指導日40日程度、給食日数200日程度
④茅野市立豊平小学校	豊平	S55	36	47	5,470	直営	正1、臨1	11,655	0	▲ 11,655	204	普通教室8室、特別教室12室、1学童クラブ、プール指導日40日程度、給食日数200日程度
⑤茅野市立玉川小学校	玉川	S54	37	47	9,243	直営	正1、臨2	16,882	0	▲ 16,882	789	普通教室28室、特別教室14室、3学童クラブ、プール指導日40日程度、給食日数200日程度
⑥茅野市立泉野小学校	泉野	S57	34	47	4,380	直営	嘱1、臨1	9,519	0	▲ 9,519	74	普通教室7室、特別教室7室、1学童クラブ、プール指導日40日程度、給食日数200日程度
⑦茅野市立金沢小学校	金沢	S56	35	47	5,271	直営	嘱1、臨1	10,805	0	▲ 10,805	122	普通教室7室、特別教室9室、1学童クラブ、プール指導日40日程度、給食日数200日程度
⑧茅野市立湖東小学校	湖東	S57	34	47	5,244	直営	正1、臨1	11,085	0	▲ 11,085	229	普通教室13室、特別教室7室、1学童クラブ、プール指導日40日程度、給食日数200日程度
⑨茅野市立北山小学校	北山	S56	35	47	5,536	直営	嘱1、臨1	11,457	0	▲ 11,457	120	普通教室7室、特別教室11室、1学童クラブ、プール指導日40日程度、給食日数200日程度

※ 上記のほか、平成28年度支出には工事費 50,967千円が計上されています。

①永明小学校 2,262千円、②宮川小学校 2,806千円、③米沢小学校 6,851千円、④豊平小学校 15,244千円、⑤玉川小学校 3,247千円、

⑥泉野小学校 3,572千円、⑦金沢小学校 4,784千円、⑧湖東小学校 4,928千円、⑨北山小学校 7,273千円

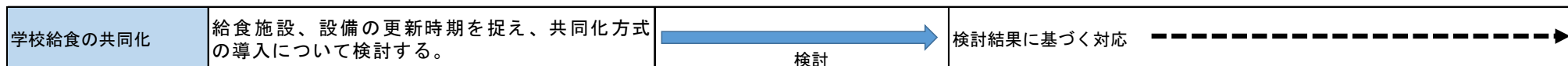
イ 施設評価

対象施設	当面10年後の方向性		説明
	機能	建物	
小学校全体	—	—	【機能】 学校教育法に基づく、義務教育小学校として継続する。なお、児童数の推移を勘案し、子どもたちの教育環境

			<p>の向上や社会性の確保、並びに地域コミュニティの拠点としての観点から、学校施設のあり方について検討する。学校給食について、センター方式及び親子方式への移行について検討する。</p> <p>【施設】 旧耐震基準で建設した建物は、耐震診断、耐震改修を実施済み。耐震基準は満たしているものの、建築から30年以上経過し老朽化が進んでいることから、費用対効果を検証し、予防保全を含め計画的な改修を行ない、長寿命化を図る。改修にあたっては、他の公共施設との複合化を検討する。</p> <p>【管理運営】 現行どおり。</p>
茅野市立 1 永明小学校	継続	建替	<p>【施設】 耐震改修工事を実施し、耐震基準を満たしているものの、建築から43年経過し老朽化が進んでいることから、小中一体型を含めて建替えを進める。建替えにあたっては、地区コミュニティセンターなど他の公共施設との複合化を検討する。</p>
2 宮川小学校	継続	改修	<p>【施設】 各学校とも耐震基準を満たしているものの、老朽化が進んでいることから、学校施設のあり方の検討結果に基づき、予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図る。</p>
3 米沢小学校	継続	継続	
4 豊平小学校			
5 玉川小学校			
6 泉野小学校			
7 金沢小学校			
8 湖東小学校			
9 北山小学校			

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
小学校の規模・配置の適正化	子どもの教育環境の向上、社会性の確保の観点から、学校の規模・配置の適正化について検討を進める。	検討			検討結果に基づく対応	-----▶
①茅野市立永明小学校の建替え	永明小学校の建替と宮川小学校のリノベーションを実施し、長寿命化を図る。	地元調整、検討委員会設置、基本・実施設計		建替工事		
②茅野市立宮川小学校の長寿命化改修		地元調整、検討委員会設置、基本・実施設計			大規模改修工事	
上記以外の小学校の保全	その他の学校については、適正規模・適正配置の検討結果に基づき対応する。	学校規模・配置の適正化の検討結果に基づき対応			検討結果に基づく対応	-----▶
小学校施設への複合化	地区コミュニティセンターなど地域利用施設の複合化について、セキュリティの確保を前提に検討する。	検討		検討結果に基づく対応	-----▶	
学校プール	運動公園プールの今後の方向性の検討にあわせ、地域利用の可能性について、管理運営体制の確保を含めて検討する。	検討		検討結果に基づく対応	-----▶	



(2) 中学校施設 【所管：学校教育課】

ア 施設概要及び現状と課題

義務教育中学校として、4校設置しています。各学校にプールを設置し、年間40日程度のプール指導を行っているほか、給食は自校調理方式（調理業務は委託化）で年間200日程度実施しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円) ※	収入額(千円)	差引収支(千円)	生徒数(人)	利用状況
①茅野市立永明中学校	ちの	S43	48	47	7,491	直営	臨2	13,599	0	▲ 13,599	378	普通教室15室(うち特別支援教室3室)、特別教室16室
②茅野市立長峰中学校	宮川	H23	5	47	8,785	直営	臨2	15,777	0	▲ 15,777	434	普通教室16室(うち特別支援教室3室)、特別教室15室
③茅野市立北部中学校	湖東	H6	22	47	9,955	直営	臨2	17,207	0	▲ 17,207	350	普通教室14室(うち特別支援教室2室)、特別教室16室
④茅野市立東部中学校	玉川	S61	30	47	8,243	直営	臨2	14,782	0	▲ 14,782	456	普通教室17室(うち特別支援教室3室)、特別教室17室

※ 上記のほか、平成28年度支出には工事費13,782千円が計上されています。

①永明中学校 2,141千円、②長峰中学校 4,230千円、③北部中学校 2,720千円、④東部中学校 4,691千円

イ 施設評価

対象施設	当面10年後の方向性		説明
	機能	建物	
中学校	—	—	<p>【機能】 学校教育法に基づく、義務教育中学校として、継続する。 学校給食について、センター方式及び親子方式への移行について検討する。</p> <p>【施設】 旧耐震基準で建設した建物は、耐震診断、耐震改修を実施し、耐震基準を満たしているものの、建築から30年以上を経過し老朽化が進んでいる施設もあることから、費用対効果を検証し、予防保全を含め計画的な改修を行ない、長寿命化を図る。改修にあたっては、他の公共施設との複合化を検討する。</p> <p>【管理運営】 現行どおり。</p>
茅野市立 1 永明中学校	継続	建替	<p>【施設】 耐震改修を実施し耐震基準は満たしているものの、建築から48年経過し老朽化が進んでいることから、小中一体型を含めて、建替えを進める。建替えにあたっては、地区コミュニティセンターなど他の公共施設との複合化</p>

			を検討する。
2 長峰中学校	継続	継続	【施設】 各学校とも耐震基準は満たしているものの、老朽化が進んでいる校舎等もあることから、予防保全を含め計画的に改修を行い、長寿命化を図る。
3 北部中学校			
4 東部中学校			

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①茅野市立永明中学校の建替え	小中一体型を含めて建替えを進める。	地元調整、検討委員会設置、基本・実施設計		建替工事		
上記以外の中学校の保全	耐震基準を満たしていることから、予防保全を含め計画的に改修を行ない、長寿命化を図る。	劣化診断、保全計画の検討・策定		計画に基づく対応		
中学校施設への複合化	地区コミュニティセンターなど地域利用施設の複合化について、セキュリティの確保を前提に検討する。	検討		検討結果に基づく対応		
学校プール	運動公園プールの今後の方向性の検討にあわせ、地域利用の可能性について、管理運営体制の確保を含めて検討する。	検討		検討結果に基づく対応		
学校給食の共同化	給食施設、設備の更新時期を捉え、共同化方式の導入について検討する。	検討		検討結果に基づく対応		

(3) その他の教育施設 【所管：学校教育課】

ア 施設概要及び現状と課題

学校生活に適応できず、不登校となっている児童・生徒の集団生活への適応指導、基礎学力の補充、生活習慣の改善等を行い、学校生活への復帰及び社会的自立を図るため、フレンドリールームと茅野市適応指導教室を設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	児童生徒数(人)	利用状況
①フレンドリールーム	宮川	S51	40	47	67	直営	臨1	1,746	0	1,746	7	全小学校の不登校児童を受け入れ、学校生活への復帰及び社会的自立をめざし、教科指導、児童や保護者の相談を行う
②茅野市適応指導教室	ちの	H16	12	38	72	直営	臨3	5,371	0	5,371	10	全中学校の不登校生徒を受け入れ、学校生活への復帰及び社会的自立をめざし、教科指導、生徒や保護者の相談を行う

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説 明
	機能	建物	
1 フレンドリー ルーム	継続	継続	【機能】 不登校児童・生徒の居場所づくりとして、また、学校への復帰を進めていく上で極めて重要な役割を果たしていることから今後も継続する。 【施設】 宮川小学校内及びちの地区コミュニティセンターに隣接して設置していることから、設置場所を含め、施設のあり方について検討する。 【管理運営】 現行どおり。
2 茅野市適応指 導教室			

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①フレンドリールーム、 ②茅野市適応指導教室の 施設のあり方	全市的な観点からの立地場所が望ましいことから、施設の設置場所を含め、施設のあり方について検討する。			検討結果に基づく対応		

2 社会教育施設

(1) 公民館施設 【所管：生涯学習課】

ア 施設概要及び現状と課題

市民の学習の場・集会などの自主的な活動の場を提供するとともに、各種講座や教室などを開催するため公民館を設置しています。公民館は、地域課題の解決に自主的に取り組む地域活動の拠点となっており、人づくり、地域づくりを目指して活動を展開しています。

茅野市には、市が設置及び管理運営をしている中央公民館(本館)1館・地区公民館10館と、区・自治会が設置及び管理運営をしている分館80館があり、市内10地区のコミュニティセンターを地区公民館として位置付けています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円) ※1	収入額(千円) ※2	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①茅野市中央公民館	宮川	S53	38	50	2,751	直営	正3、再1 嘱3	18,022	139	▲17,883	45,497	各種講座等の事業を実施し、貸館事業を含め、施設年間利用人数は延べ約45,500人、稼働率は部屋毎に異なり8～60%

※1 上記のほか、平成28年度支出には工事費として、32,593千円(アスベスト除去工事20,519千円含む)が計上されています。

※2 上記のほか、平成28年度収入にはアスベスト除去工事に伴う国庫補助金5,790千円が計上されています。

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説明
	機能	建物	
1 茅野市中央公民館	検討	検討	<p>【機能】 これまでの社会教育に関する講座などに加え、これからは地域課題を解決するための活動拠点として、また、その活動を支える人材確保を図る学習拠点としての役割が求められており、今後の公民館のあり方について検討する。</p> <p>【施設】 耐震基準は満たしているものの、建築から 38 年経過し老朽化が進んでいる。当面、必要な改修を行い使用し、上記の機能のあり方の検討にあわせ、今後の方向性について検討する。</p> <p>【管理運営】 他団体における指定管理者制度の導入状況等を分析し、管理運営のあり方について検討する。 施設の使用料について、施設を利用する市民と利用しない市民との公平性の観点から、減額・免除規定の見直しを含め、受益者負担の適正化について検討する。</p>
2 地区公民館	検討	検討	<p>【機能・施設・管理運営】 地区コミュニティセンターのあり方に合わせ、検討する。</p>

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①茅野市中央公民館のあり方	課題解決に必要な学習活動や人材支援、活動拠点の提供など新たな役割が求められており、これからの時代にふさわしい公民館のあり方について検討する。 地域力・民間活力を活用した公民館施設の管理運営手法について検討する。 施設使用料、講座等の受講料について、受益者負担の適正化の観点から、減額免除規定の見直しを含めて検討する。		検討	検討結果に基づく対応	----->	
②地区公民館機能のあり方	地区コミュニティセンターの役割や管理運営のあり方を検討するなかで、地区公民館機能についても検討する。		検討	検討結果に基づく対応	----->	

(2) 図書館施設 【所管：生涯学習課】

ア 施設概要及び現状と課題

図書をはじめとする多様な資料を収集・整理・保存し、市民に情報提供するとともに、市民の生涯学習活動を支援する拠点施設として、茅野市図書館（本館）のほか、10か所の分室、茅野市民館図書室を設置しています。なお、各小中学校に学校図書館が設置されています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円) ※	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
① 茅野市図書館	玉川	S55	36	50	1,614	直営	正4、再1 嘱3、臨3	25,490	80	▲ 25,410	129,662	蔵書数は約167,100点で、年間入館者数は約135,000人、貸出数は約238,000冊、「おはなし会」を108回開催
②	ちの分室	ちの	H7	21	38	57	直営	-	-	-	672	蔵書数約3,900冊、年間貸出数約3,700冊
	宮川分室	宮川	S53	38	50	57	直営	-	-	-	873	蔵書数約5,000冊、年間貸出数約3,100冊
	米沢分室	米沢	S58	33	38	29	直営	-	-	-	940	蔵書数約5,500冊、年間貸出数約2,200冊
	豊平分室	豊平	S60	31	38	29	直営	-	-	-	363	蔵書数約5,000冊、年間貸出数約1,300冊
	玉川分室	玉川	S56	35	38	37	直営	-	-	-	1,063	蔵書数約4,200冊、年間貸出数約3,700冊
	泉野分室	泉野	S57	34	38	30	直営	-	-	-	816	蔵書数約4,300冊、年間貸出数約2,200冊
	金沢分室	金沢	S59	32	38	27	直営	-	-	-	1,108	蔵書数約4,900冊、年間貸出数約1,800冊
②	湖東分室	湖東	S57	34	38	24	直営	-	-	-	735	蔵書数約4,500冊、年間貸出数約2,600冊
	北山分室	北山	S63	28	38	29	直営	-	-	-	862	蔵書数約5,200冊、年間貸出数約2,100冊
中大塩分室	中大塩	S54	37	38	112	直営	-	-	-	-	1,009	蔵書数約4,600冊、年間貸出数約3,900冊
③ 茅野市民館図書室	ちの	H17	11	41	237	指定管理	-	-	-	-	3,797	蔵書数約11,000点、年間貸出数約10,200冊

※ 上記のほか、平成28年度支出には工事費 3,448千円(①茅野市図書館)が計上されています。

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説明
	機能	建物	
1 茅野市図書館	継続	検討	<p>【施設の機能】 市民の生涯学習活動の場として、また、情報収集・情報提供の役割を持つことから、図書館の機能については継続する。上記の機能に加え、地域課題を解決するための情報提供などが求められていることから、今後の図書館の配置及び機能のあり方について検討する。</p> <p>【施設の性能】 耐震基準は満たしているものの、建築から 36 年経過し老朽化が進んでいること、利便性に課題があることなどから、施設のあり方について、移転・複合化を含めて検討する。</p> <p>【管理運営】 費用対効果やサービス向上の観点から、民間活力の活用について検討する。</p>

2 分室 ちの分室 宮川分室 米沢分室 豊平分室 玉川分室 泉野分室 金沢分室 湖東分室 北山分室 中大塩分室	検討	検討	<p>【施設の機能】 各地区コミュニティセンター等に併設し、利用実態は小学生が多くなっている一方、各小中学校には図書館が設置されており、学校施設の地域利用施設との複合化が課題となっていることから、分室のあり方について検討する。</p> <p>【施設の性能】（各コミュニティセンター等に記載）</p> <p>【管理運営】 学校施設との複合化について検討する中で、分室の管理運営のあり方について検討する</p>
3 茅野市民館図書室	継続	継続	<p>【施設の機能】 駅利用者等の利便性を高め、有効に機能していることから継続する。</p> <p>【施設の性能】（茅野市民館に記載）</p> <p>【管理運営】 指定管理者制度による運営を継続する。</p>

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①茅野市図書館のあり方	茅野市図書館について、これまでの貸出業務を中心とした図書館運営から、地域課題の解決のための学習支援と情報提供など公共図書館に求められる新たな役割への対応など今後の図書館のあり方について、位置の問題や民間活力を活用した管理運営手法の導入を含めて検討する。 施設について、上記の検討結果を踏まえ、大規模改修して長寿命化を図るのか、移転・建替えを進めるのか検討する。		検討	検討結果に基づく対応	----->	
②分室のあり方	学校施設への地域利用施設の複合化の検討にあわせ、学校図書館と連携した分室のあり方について、管理運営体制を含めて検討する。		検討	検討結果に基づく対応	----->	
③茅野市民館図書室の効率的・効果的な運営	さらに利便性を高め、有効活用につながる方策について検討するとともに、モニタリング評価の仕組みについて再構築し、効率的かつ効果的な運営を図る。	検討		検討結果に基づく対応	----->	

(3) 博物館施設 【所管：文化財課】

ア 施設概要及び現状と課題

茅野市における考古資料、歴史や生活文化の資料を収集、収蔵、展示するとともに、調査研究、体験学習の場を提供するため、博物館を設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①茅野市尖石縄文考古館	豊平	H12	16	50	3,195	直営	正2、再2 嘱2、臨2	45,276	14,306	▲ 30,970	53,824	常設展示のほか、特別展を1回、ロビー展を3回、縄文教室と講演会を計18回開催
②茅野市八ヶ岳総合博物館	豊平	S63	28	50	3,388	直営	正2.9 嘱1、臨3	16,143	1,263	▲ 14,880	13,445	常設展示のほか、特別展等事業、岳麓文芸館事業、プラネタリウム事業、市民研究員養成事業などを実施
③茅野市神長官守矢史料館	宮川	H3	25	50	134	直営	正0.1 嘱1、臨2	3,213	1,666	▲ 1,547	11,493	守矢文書という歴史的資料を保存・展示

イ 施設評価

対象施設	当面10年後の方向性		説明
	機能	建物	
1 茅野市尖石縄文考古館	継続	継続	<p>【機能】 国宝の展示や、出土された遺跡の収蔵・展示、縄文文化に関する資料の収集・調査研究など、茅野市の文化財行政において、重要な役割を果たしていることから継続する。</p> <p>【施設】 新耐震基準で建設した建物で、建築から16年経過。予防保全を含め計画的に改修し、長寿命化を図る。</p> <p>【管理運営】 収蔵・展示を中心とした機能に加え、体験型の展示・活動を含めた運営が求められていることから、調査研究を主たる業務とする学芸員の役割を明確にし、施設の管理運営のあり方について民間活力の活用を検討する。</p>
2 茅野市八ヶ岳総合博物館	検討	検討	<p>【機能】 当面継続するものの、茅野市尖石縄文考古館のテーマ性を損なわないことを前提に、茅野市尖石縄文考古館との一体的な機能展開について、施設のあり方を含め検討する。</p> <p>【施設】 新耐震基準で建設した建物で、建築から28年経過。今後のあり方の検討の結論が出されるまで、当面、必要な改修を行い使用する。</p> <p>【管理運営】 当面、現行どおり。 他の博物館施設の管理運営の見直しに合わせ、一体的な管理運営方法を検討する。</p>
3 茅野市神長官守矢史料館	継続	継続	<p>【機能】 守矢文書という歴史的資料を保存・展示していく機能として継続する。</p> <p>【施設】 新耐震基準で建設した建物で、建築から25年経過。予防保全を含め計画的に改修し、長寿命化を図る。</p> <p>【管理運営】</p>

			当面、現行どおり。 他の博物館施設の管理運営の見直しに合わせ、一体的な管理運営方法を検討する。
--	--	--	--

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①茅野市尖石縄文考古館、③茅野市神長官守矢史料館の長寿命化	耐震基準を満たしていることから、予防保全を含め計画的に改修し、長寿命化を図る。	劣化診断、保全計画の検討・策定		計画に基づく対応	----->	
②茅野市八ヶ岳総合博物館の保全	耐震基準を満たしていることから、当面、必要な改修を行って引き続き使用する。	必要な改修		----->		
②茅野市八ヶ岳総合博物館の施設配置のあり方	利用実態を踏まえ、利用者を増やす方法として、尖石縄文考古館との隣接など、施設の配置のあり方について検討する。	検討		検討結果に基づく対応	----->	
①茅野市尖石縄文考古館、②茅野市八ヶ岳総合博物館、③茅野市神長官守矢史料館の管理運営	基本的に、博物館機能は継続するものの、これからの博物館に求められている役割りを踏まえ、効果的かつ効率的な管理運営を図るため、る学芸員の役割を明確にし、民間活力の活用を含め、3つの施設の一体的な管理運営方法を検討する。	検討		検討結果に基づく対応	----->	

(4) スポーツ施設 【所管：スポーツ健康課】

ア 施設概要及び現状と課題

市民の健康づくりや、余暇・レクリエーション活動の場として、また、スポーツをはじめめるきっかけづくりや、競技力の向上を図るための機会を提供するため、以下のスポーツ施設を設置しています。

このほか、茅野市中央公民館やちの地区コミュニティセンター、アクアランド茅野（カルチャーセンター）、茅野市青少年自然の森に多目的に使用できる運動スペースを設置しているとともに、市内13小中学校の体育館、校庭の地域開放を行っています。

施設名	地域	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)※1	収入額(千円)※2	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
茅野市運動公園												
①野球場	玉川	S52	39	50	464	直営	-	4,930	848	▲ 4,082	8,678	硬式野球、軟式野球、ソフトボール、弓道の遠的場として使用、各種大会(35回)の開催や夏季の合宿(16日)にも利用
②プール	玉川	S52	39	38	771	指定管理	-	14,114	(5,811)	▲ 14,114	16,003	7月1日～8月31日までの毎日、10時から17時30分まで開設。プールを使用した大会の開催は皆無
③弓道場	玉川	S54	37	38	322	直営	-	1,499	514	▲ 985	3,873	愛好者の練習のほか、大会の開催(4回)や夏季の合宿利用(5日)などで使用。年間稼働率は約54%
④総合体育館	玉川	S55	36	47	7260	直営	正5、臨2	30,961	6,346	▲ 24,615	94,121	日々の練習や大会の開催(62回)、合宿利用(メイン体育館18日・サブ体育館11日)などで使用。

⑤広場野球場	玉川	S52	39	38	267	直営	-	4,792	1,184	▲ 3,608	17,329	大会の開催(54回)や夏季の合宿利用(10日)に使用されるほか、野球場のサブグラウンドとしても利用、稼働率38.1%
⑥陸上競技場	玉川	S57	34	50	454	直営	-	9,956	2,729	▲ 7,227	25,588	第3種の全天候型の陸上競技場、大会開催27大会、インフィールドはサッカーの会場として利用、稼働率63.1%
⑦相撲場	玉川	S58	33	38	172	直営	-	168	6	▲ 162	504	相撲場の利用は皆無。大成館は、オフシーズンにスケートクラブ員約500人が利用
⑧国際スケートセンター	玉川	H3	25	38	2374	指定管理	-	30,184	(10,480)	▲ 30,184	38,406	11月下旬から翌年2月下旬まで開設。各種大会の開催(16回)、小学校の授業利用が約9,100人
⑨ゴルフ練習場	玉川	H6	22	38	737	指定管理	-	9,905	(13,688)	▲ 9,905	26,591	⑧の夏場の有効活用策として、3月下旬～10月下旬まで開設。
⑩バッティングセンター	玉川	S56	35	38	268	直営	-	7,572	11,438	3,866	64,584	年末年始を除く毎日開設。ピッチングマシンは野球用9台、ソフトボール用1台
⑪屋内ゲートボール場	玉川	H2	26	24	1106	直営	-	837	258	▲ 579	5,405	大会の開催(21回)、消防団のラッパ吹奏の練習場として使用、稼働率18.5%
⑫茅野市体育練成館	ちの	S52	39	34	541	直営	-	817	179	▲ 638	8,958	剣道、柔道、空手道、合気道の団体が利用、大会開催(5回)など年間利用者数は約8,900人、稼働率14.8%

※1 上記のほか、平成28年度支出には工事費 35,611千円が計上されています。

①野球場 2,476千円、②プール 4,676千円、③弓道場 300千円、④総合体育館 4,774千円、⑤広場野球場 9,050千円、

⑥陸上競技場 10,436千円、⑧国際スケートセンター 2,499千円、⑨ゴルフ練習場 903千円、⑪屋内ゲートボール場 497千円

※2 () 書きは、指定管理者の収入となっている施設使用料。

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説 明
	機能	建物	
スポーツ施設 共通項目	継続	—	<p>【機能】</p> <p>市民の健康づくりや、余暇・レクリエーション活動の場として、また、スポーツをはじめのきっかけづくりや競技力向上のための機会を提供するスポーツ施設について、基本的に継続する。</p> <p>【管理運営】</p> <p>スポーツ施設全般にわたる効率的かつ効果的な運営とするため、民間活力の活用を進める。</p> <p>利用する市民と利用しない市民との公平性の観点から、受益者負担の適正化について検討する。</p>
1 茅野市運動公園野球場	継続	継続	<p>【機能・施設】</p> <p>市内で唯一の硬式野球場。スタンドは、耐震基準を満たしていない可能性が高く、建築から 39 年経過し老朽化が進んでいることから、必要な対策を講じて使用する。</p>
2 茅野市運動公園プール	廃止	廃止	<p>【機能・施設】</p> <p>夏季限定の施設であること、周辺自治体に類似機能があることから、大規模な改修が発生した段階で廃止する。</p> <p>【管理運営】</p> <p>当面、指定管理者制度により運営する。指定管理仕様書の内容を精査し、モニタリング評価を徹底する。</p>
3 茅野市運動公園弓道場	継続	継続	<p>【機能・施設】</p> <p>市内唯一の施設であるものの、耐震基準を満たしていない可能性が高く、建築から 37 年経過し老朽化が進んでいることから、当面、必要な修繕を行って使い切る。</p>

			【管理運営】 利用者が限られていることから、利用団体による自主的な運営手法について検討する。
4 茅野市運動公園総合体育館	継続	継続	【機能・施設】 全県・広域・全市的な大会・イベント会場として使用可能なことから継続する。 耐震基準は満たしているものの、建築から36年経過し老朽化が進んでいることから、予防保全を含め必要な改修を行い長寿命化を図る。
5 茅野市運動公園広場野球場	継続	継続	【機能・施設】 夜間利用可能な類似施設が他にないことから継続する。 スタンドは、耐震基準を満たしていない可能性が高く、建築から39年経過していることから、必要な対策を講じて使用する。
6 茅野市運動公園陸上競技場	継続	継続	【機能・施設】 全県・広域・全市的な大会・イベント会場として使用可能なことから継続する。 スタンドは、耐震規準は満たしているものの、建築から34年を経過し老朽化が進んでいることから、予防保全を含め必要な改修を行い長寿命化を図る。
7 茅野市運動公園相撲場	廃止	廃止	【機能・施設】 利用実態（0%）がないことから、廃止する。
8 茅野市運動公園国際スケートセンター	継続	継続	【機能・施設】 冬季における市民の健康づくり、スポーツの場として、また、多くの競技者を輩出し続けていることから継続する。 耐震規準を満たしているものの、建築から25年経過し、施設・設備の改修等が必要になっていることから、予防保全を含め必要な改修を行い長寿命化を図る。 【管理運営】 スケートリンクの管理運営の特殊性に鑑み、現状通りとする。指定管理仕様書の内容を精査し、モニタリング評価を徹底する。
9 茅野市運動公園ゴルフ練習場	検討	検討	【機能・施設】 夏季における活用対策として使用しているものの、民間で類似の施設を営業していること、当施設における収支が不均衡となっていることから、他の活用方法を検討する。
10 茅野市運動公園バッティングセンター	継続	継続	【機能・施設】 多くの利用者があることから当面継続する。 耐震基準を満たしていない可能性が高いこと、建築から35年経過していることから、当分使用するものの、費用対効果を検証し、今後のあり方について検討する。
11 茅野市運動公園屋内ゲートボール場	継続	継続	【機能・施設】 冬季における高齢者の健康づくり、スポーツ活動の場として継続する。 耐震基準を満たしており、建築から26年経過している。必要な修繕を行い使いきる。
12 茅野市体育練成館	統合	廃止	【機能】 茅野市総合体育館内に柔道場・剣道場が設けられ機能が重複している。体育練成館と総合体育館内の両施設の利用実態から精査し、総合体育館への機能統合を進める。

			【施設】 建築から39年経過し老朽化が進んでいる。耐震基準を満たしていない可能性が高いことから廃止する。
--	--	--	---

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①野球場、④総合体育館、⑤広場野球場、⑥陸上競技場、⑧国際スケートセンターの長寿命化	予防保全を含め、計画的な改修を行い、長寿命化を図る。	劣化診断、保全計画の検討・策定		計画に基づく対応	----->	
③弓道場、⑪屋内ゲートボール場の保全	当面必要な修繕を行い継続する。	必要な修繕 ----->				
②茅野市運動公園プールの廃止	当面必要な修繕を行い維持するものの、大規模な改修が必要になった時点で用途、施設ともに廃止する。	大規模な改修が必要になった時点で廃止 ----->				
③茅野市運動公園弓道場の運営方法	利用団体による自主的な運営方法を検討する。	検討		検討結果に基づく対応	----->	
⑦茅野市運動公園相撲場の廃止	相撲場としての利用実態が皆無なこと、施設を放置することのリスク管理の観点から、機能、施設ともに廃止する。	検討			廃止	
⑨茅野市運動公園ゴルフ練習場の今後のあり方	当面必要な修繕を行い維持するものの、民間施設と競合することから、大規模な改修が必要になった時点か、経費が収入を上回り、指定管理料が大幅に上昇することが見込まれる時点で、他用途への活用を含め、今後のあり方を検討する。	大規模な改修が必要になった時点で検討 ----->				
⑪茅野市運動公園屋内ゲートボール場の有効活用	施設の有効活用を図るため、他用途への活用を含め、今後の使用方法を検討する。	検討		検討結果に基づく対応	----->	
⑫茅野市体育練成館の機能統合	老朽化が進み、耐震基準を満たしていない可能性が高いことから、総合体育館の柔剣道場の利用実態を精査し、機能統合を行い、建物は廃止する。	検討		検討結果に基づく対応	----->	
⑩茅野市運動公園バuntingセンターのあり方	当分の間は引き続き使用するものの、今後、建替えや大規模な改修が必要となった場合には、存廃を含めて、あり方について検討する。	建替えや大規模な改修が必要になった時点で検討 ----->				
①野球場、③弓道場、④総合体育館、⑤広場野球場、⑥陸上競技場、⑪屋内ゲートボール場の管理運営	スポーツに関する各種施策の内容や施設の管理運営の実態を精査し、経費の節減とサービスの向上、施設の有効活用の観点から、民間活力を活用した管理運営手法について検討する。	検討		検討結果に基づく対応	----->	

(5) 男女共同参画センター施設 【所管：生涯学習課】

ア 施設概要及び現状と課題

女性の地位向上等に関する事業を行い、男女共同参画社会づくりを支援するために設置しています。

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説明
	機能	建物	
1 男女共同参画センター	検討	検討	<p>【機能】 男女共同参画センターの機能については継続するものの、相談場所の確保を含め、他の公共施設の活用による事業展開を検討する。</p> <p>【施設】 平成 16 年（2004 年）にちの地区コミュニティセンターに新耐震基準で増築した建物で、建築から 12 年経過している。上記の検討結果に基づき、他用途への活用を検討する。</p>

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①男女共同参画センターの事業展開	男女共同参画センターの機能は必要なものの、家庭教育センターを使用していることから、家庭教育センターのあり方に併せ、相談場所の確保を含め、他の公共施設の活用による事業展開を検討する。				検討結果に基づく対応	

(6) 自然体験施設 【所管：観光まちづくり推進課、文化財課】

ア 施設概要及び現状と課題

自然体験活動の推進や観光振興を目的として茅野市千駄刈自然学校を、また、野外活動と心身の鍛錬を通じ次代を担う青少年の健全育成を図るとともに、市民の生涯学習の推進に資することを目的に、茅野市青少年自然の森を設置しています。

施設名	地域	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)※	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①茅野市千駄刈自然学校	北山	H17	11	22	266	直営	臨1	5,568	12	▲ 5,556	7,736	サマーキャンプ、スノーキャンプを中心にした体験プログラムを実施
②茅野市青少年自然の森	豊平	H3	25	22	3,146	直営	嘱1、臨1	5,543	843	▲ 4,700	6,381	就学児から大人まで幅広い年齢層が利用し、郡内小中学校のキャンプ時に土器・土笛づくりなどの縄文体験学習を指導

※ 上記のほか、平成28年度支出には工事費 1,242千円(①千駄刈自然学校)が計上されています。

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説明
	機能	建物	
1 茅野市千駄刈自然学校	継続	継続	<p>【機能】 茅野市の特性を生かした自然体験プログラムを体験できる施設として、継続する。</p> <p>【施設】 管理棟は耐震基準を満たしており、予防保全を含め必要な改修を行い、長寿命化を図る。 宿泊棟については、基礎部分の劣化が激しいことから、存廃を含めて検討する。</p> <p>【管理運営】 直営方式を見直し、指定管理者制度へ移行する。</p>
2 茅野市青少年自然の森	継続	継続	<p>【機能】 青少年健全育成のための役割に加え、観光資源としての活用の検討を含め、利用の拡大を図ることを前提に継続する。</p> <p>【施設】 耐震基準を満たしているものの、築 25 年を経過し、一部使用不能な施設も生じていることから、必要な修繕を行い使い切る。</p> <p>【管理運営】 千駄刈自然学校との一体的な運用を図るなど、民間活力を活用した管理運営について検討する。 施設使用料について、観光施設としての利用拡大を検討するなかで、受益者負担の適正化を図る。</p>

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①茅野市千駄刈自然学校の宿泊棟のあり方	宿泊棟については、基礎部分の劣化が激しいことから他施設の活用を含め存廃を検討する。管理棟は予防保全を含め必要な改修を行い、長寿命化を図る。	→ 検討	検討結果に基づく対応 →			
①茅野市千駄刈自然学校の管理棟の長寿命化		→ 劣化診断、保全計画の検討・策定	計画に基づく対応 →			
②茅野市青少年自然の森の保全	必要な修繕を行い、引き続き使用する。	→ 必要な修繕				
①茅野市千駄刈自然学校、②茅野市青少年自然の森の管理運営	効果的かつ効率的に運営するため、民間活力を活用した管理運営手法の導入を検討する。将来的には千駄刈自然学校と青少年自然の森との一体的な運用を検討する。 青少年健全育成の目的に加え、新たな観光資源としての活用を検討する。 施設の使用料について、青少年健全育成と観光振興も踏まえる中で、減額免除規定の見直しを含め、受益者負担の適正化を検討する。	→ 検討	検討結果に基づく対応 →			
②茅野市青少年自然の森のあり方		→ 検討	検討結果に基づく対応 →			

(7) その他の社会教育施設 【所管：地域福祉課、スポーツ健康課、生涯学習課】

ア 施設概要及び現状と課題

市民の生涯学習の場として、また、趣味・生きがい活動、芸術文化活動の練習や発表の場として、アクアランド茅野（カルチャーセンター）と茅野市運動公園野外音楽堂を設置しています。また、地域の生涯学習の場として、北部中学校に併設して茅野市北部生涯学習センターを設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)※1	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①アクアランド茅野(カルチャーセンター)	ちの	H2	26	47	1178	指定管理	-	4,503	0	▲ 4,503	50,128	教養講座(年間約100回)と多目的ホール等を活用しての体力づくりの講座(年間約450回)を開催
②茅野市運動公園野外音楽堂	玉川	S60	31	50	140	直営	正 0.02 臨 0.01	258	6	▲ 252	49	天候に左右されることや、近隣の住民から騒音の苦情があるなど利用者は年々減少、年間利用回数は3回
③茅野市北部生涯学習センター	湖東	H6	22	47	1259	直営	-	-	-	-	924	やつがねホールは、授業・部活等でほぼ毎日使用のほか、ピアノ発表会8回(約900人)で使用

※1 上記のほか、平成28年度支出には工事費 1,246千円(①アクアランド茅野(カルチャーセンター))が計上されています。

※2 ①アクアランド茅野(カルチャーセンター)については、指定管理者の決算書から算出しています。

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説 明
	機能	建物	
1 アクアランド茅野(カルチャーセンター)	継続	継続	<p>【機能】 市民の生きがい活動・健康づくりなどの場として使用されていることから、利用実態を精査のうえ継続する。</p> <p>【施設】 耐震基準を満たしており、予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図る。</p> <p>【管理運営】 指定管理者制度での管理運営を継続する。指定管理仕様書の内容を精査し、モニタリング評価を徹底する。</p>
2 茅野市運動公園野外音楽堂	廃止	廃止	<p>【機能・施設】 利用実態(平成28年度(2016年度)3件49人)から廃止する。</p>
3 茅野市北部生涯学習センター	継続	継続	<p>【機能】 地域の生涯学習の拠点として、有効活用を図りながら継続する。</p> <p>【施設】 耐震基準を満たしており、学校施設にあわせて予防保全を含め計画的な改修を行ない、長寿命化を図る。</p> <p>【管理運営】 学校教育の運営に支障のない範囲で、より有効に使用するための管理運営方法について検討する。</p>

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①アクアランド茅野（カルチャーセンター）の長寿命化	耐震基準をみだし、建築から26年経過。予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図る。	劣化診断、保全計画の検討・策定		計画に基づく対応	----->	
①アクアランド茅野（カルチャーセンター）の効率的・効果的な運営	指定管理者制度での管理運営を継続するものの、指定管理事業と自主事業の区分を明確にして、効率的かつ効果的な運営を図る。	検討		検討結果に基づく対応	----->	
②茅野市運動公園野外音楽堂の廃止	施設が老朽化し、利用者も少ないことから、廃止する。	検討		検討結果に基づく対応	----->	
③茅野市北部生涯学習センターの利活用	地域利用ゾーン、学校専用ゾーン、学校と地域の共同利用ゾーンに区分し、地域・市民の活動拠点として、また、観光分野との連携など他分野との協働で事業展開し、利活用を促進する。	検討		検討結果に基づく対応	----->	

3 保健福祉施設

(1) 老人福祉施設 【所管：高齢者・保険課】

ア 施設概要

高齢者等に健康の増進やレクリエーションなどの場や機会を提供するため、茅野市高齢者福祉センター塩壺の湯を設置しています。また、養護老人ホーム施設と認知症対応型共同生活介護（グループホーム）施設の複合施設である茅野市寿和寮のほか、常時介護が必要で、居宅での生活が困難な方が入所する施設として介護老人福祉施設ふれあいの里があります。

なお、市内には、市が設置運営している入浴施設が7か所のほか、民間の入浴施設が山間部を中心に5か所設置されています。また、民間が経営する特別養護老人ホームが3か所、グループホームが5か所設置されています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①茅野市高齢者福祉センター塩壺の湯	米沢	H26	2	34	1,390	指定管理	-	26,224	0	▲ 26,224	57,494	入浴サービスの提供のほか、介護予防通所事業(延べ約3,400人)やいきいき健幸ルーム事業(延べ約2,200人)を実施
②茅野市寿和寮	宮川	H17	11	47	3,965	指定管理	-	-	-	-	75	居室70室のほか、集会室、機能回復訓練室、デイルーム5室、調理室、洗濯・家事室、医務室、浴室等で構成
③介護老人福祉施設ふれあいの里	玉川	H4	24	47	3,687	無償貸与	-	-	-	-	90	個室の居室が4室、多床室が23室のほか、会議室、更衣室、厨房、医務室、浴室、介護員室等で構成

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説 明
	機能	建物	
1 茅野市高齢者福祉センター 塩壺の湯	継続	継続	【機能】 高齢者の健康増進及び介護予防に寄与していることから継続する。 【施設】 耐震基準は満たしており、予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図る。 【管理運営】 指定管理者制度での管理運営を継続するものの、モニタリング評価を徹底する。 受益者負担の適正化について検討する。
2 茅野市寿和寮	継続	譲渡	【機能・施設】 養護老人ホームについては措置費により対応できること、グループホームに関しては、介護保険事業として事業者が事業収入により運営できることから、市営住宅以外の部分を民間事業者へ譲渡する。
3 介護老人福祉施設ふれあいの里	継続	協議	【機能・施設】 既に諏訪中央病院組合に経営権を譲渡し、組合が介護保険事業者として介護事業収入を得て運営していることから、介護保険事業者である諏訪中央病院組合と協議する。

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①茅野市高齢者福祉センター塩壺の湯の長寿命化	予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図る。	劣化診断、保全計画の検討・策定		計画に基づく対応	----->	
①茅野市高齢者福祉センター塩壺の湯の入浴機能のあり方	隣接地に市営温泉施設「米沢温泉塩壺の湯」があり、温泉機能が重複していることから、入浴機能について必要性を含めてあり方を検討する。					→ 検討
①茅野市高齢者福祉センター塩壺の湯の受益者負担の適正化	他の入浴施設との関係を整理して受益者負担の適正化について検討する。	検討		検討結果に基づく対応	----->	
②茅野市寿和寮の施設の譲渡	養護老人ホームは措置費により、グループホームは介護事業収入により自立した運営が可能なることから、民間事業者への譲渡について検討する。	検討・協議		検討結果に基づく対応	----->	
③介護老人福祉施設ふれあいの里の施設のあり方	組合が介護事業の枠組みのなかで介護事業収入を得て運営していることから、これまでの経緯を尊重しつつ、施設のあり方について関係機関と協議する。	協議			検討結果に基づく対応	----->

(2) 保健施設 【所管：健康づくり推進課、保健福祉サービスセンター】

ア 施設概要及び現状と課題

健診や市民の健康づくり、健康教育の拠点として健康管理センターを設置しています。また、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送るための

保健・医療・福祉に関する総合的サービスを提供するため4か所の保健福祉サービスセンターを設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)※	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①茅野市健康管理センター	ちの	H2	26	38	1,293	直営	正12、 嘱3、臨1	3,724	0	▲ 3,724	23,340	各種健診年間延べ約7,260人、予防接種年間延べ約11,500人、料理教室年間延べ約600人、各種相談年間延べ約1,900人など
②	茅野市東部保健福祉サービスセンター	玉川	H2	26	148	直営	正5.5、 嘱1、臨2	1,220	0	▲ 1,220	3,160	保健・福祉に関する総合相談窓口の設置のほか、介護保険事業に関する認定調査やデイサービス事業を実施
	茅野市西部保健福祉サービスセンター	宮川	H12	16	1,429	直営	正5.5、 再1、臨2	15,390	9,753	▲ 5,637	4,205	保健・福祉に関する総合相談窓口の設置のほか、介護保険事業に関する認定調査やデイサービス事業を実施
	茅野市中部保健福祉サービスセンター	ちの	H28	0	234	直営	正5.5 嘱1	-	-	-	6,709	保健・福祉に関する総合相談窓口の設置のほか、介護保険事業に関する認定調査やデイサービス事業を実施
	茅野市北部保健福祉サービスセンター	北山	H6	22	728	直営	正4.5 臨1	12,571	3,097	▲ 9,474	2,067	保健・福祉に関する総合相談窓口の設置のほか、介護保険事業に関する認定調査やデイサービス事業を実施

※ 上記のほか、平成28年度支出には工事費 745千円(②茅野市北部保健福祉サービスセンター)が計上されています。

イ 施設評価

対象施設	当面10年後の方向性		説明	
	機能	建物		
1 茅野市健康管理センター	継続	継続	<p>【機能】 市民の健康づくりや保健衛生に関する施策事業展開の拠点施設であり継続する。</p> <p>【施設】 耐震基準は満たしているものの、建築から26年経過しており、予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図る。</p> <p>【管理運営】 現行どおり。</p>	
2	保健福祉サービスセンター	継続	—	<p>【機能】 保健福祉に関するサービスセンター機能については、今後も必要なことから継続する。</p>
	茅野市東部保健福祉サービスセンター	—	継続	<p>【施設】 介護老人保健施設内に併設(有料)されていることから、利用実態を精査し、適正な負担のあり方について検討する。</p>
	茅野市西部保健福祉サービスセンター	—	検討	<p>【機能・施設】 施設内の西部デイサービスセンターと社協訪問介護事業所については、介護保険事業者の事業であり、行政が関わる必要性が薄いことから譲渡を含めて、今後のあり方を検討する。</p> <p>施設は、耐震基準は満たしているものの、建築から16年経過しており、予防保全を含め計画的な改修を行ない、長寿命化を図る。</p>

茅野市中部保健福祉サービスセンター	—	継続	【施設】 ひと・まちプラザに併設されていることから、一体的に運営する。
茅野市北部保健福祉サービスセンター	—	検討	【機能・施設】 施設内の北部デイサービスセンターとヘルパーステーションについては、介護保険事業者の事業であり、行政が関わる必要性が薄いことから譲渡を含めて、今後のあり方を検討する。 施設については、耐震基準を満たしているものの、建築から22年経過しており、予防保全を含め計画的な改修を行ない、長寿命化を図る。

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①茅野市健康管理センター、②茅野市西部保健福祉サービスセンター、②茅野市北部保健福祉サービスセンターの長寿命化	耐震基準を満たしていることから、予防保全を含め、計画的に改修を行い、長寿命化を図る。		劣化診断、保全計画の検討・策定	計画に基づく対応	----->	
①茅野市健康管理センターの有効活用	諸室の有効活用を検討する。		検討	検討結果に基づく対応	----->	
②茅野市東部保健福祉サービスセンターの適正な負担のあり方	介護老人保健施設内に併設されていることから、利用実態を精査し、適切な負担のあり方について検討します。		検討	検討結果に基づく対応	----->	
②茅野市西部保健福祉サービスセンターの施設の譲渡	西部デイサービスセンターと社協訪問介護事業所については、介護保険事業者が介護事業収入を得て自立した経営ができることから、施設の譲渡について検討する。		検討・協議	検討結果に基づく対応	----->	
②茅野市北部保健福祉サービスセンターの施設の譲渡	北部デイサービスセンターとヘルパーステーションについては、介護保険事業者が介護事業収入を得て自立した経営ができることから、施設の譲渡について検討する。		検討・協議	検討結果に基づく対応	----->	

(3) 温泉施設 【所管：地域福祉課】

ア 施設概要及び現状と課題

市民の福祉と健康の増進を図るため、6つの福祉温泉施設を設置しています。管理運営は指定管理者制度で行い、利用料金制を採用（指定管理者の収入となり運営費の一部として使用されるもので、167,645千円）して同一の民間事業者を指定管理者に選定しています。このほか、設備等の経年劣化により28年度では約12,000千円の工事費が発生しています。なお、市が他の目的で設置した温泉施設が2か所あるほか、民間の温泉施設が5か所設置されています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円) ※	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①アクアランド茅野	ちの	H2	26	39	1,422	指定管理	-	60,211	0	60,211	92,205	施設の開設日・開設時間は、毎週火曜日を除く毎日9時～21時まで、屋内温水プールあり
②河原温泉河原の湯	泉野	H3	25	39	931	指定管理	-				37,652	施設の開設日・開設時間は、毎週木曜日を除く毎日9時～21時まで
③金沢温泉金鶏の湯	金沢	H8	20	39	693	指定管理	-				72,462	施設の開設日・開設時間は、毎週水曜日を除く毎日9時～21時まで
④尖石温泉縄文の湯	豊平	H12	16	39	833	指定管理	-				138,706	施設の開設日・開設時間は、毎週月曜日を除く毎日9時～21時まで
⑤玉宮温泉望岳の湯	玉川	H15	13	39	830	指定管理	-				115,459	施設の開設日・開設時間は、毎週金曜日を除く毎日9時～21時まで
⑥米沢温泉塩壺の湯	米沢	H18	10	39	895	指定管理	-				121,050	施設の開設日・開設時間は、毎週水曜日を除く毎日9時～21時まで

※ 上記のほか、平成28年度支出には工事費 11,821千円が計上されています。

①アクアランド茅野 4,743千円、②河原温泉河原の湯 873千円、③金沢温泉金鶏の湯 905千円、④尖石温泉縄文の湯 3,568千円、⑤玉宮温泉望岳の湯 486千円

イ 施設評価と対応方針

対象施設	当面 10 年後の方向性		説明
	機能	建物	
温泉施設 ①アクアランド茅野 ②河原温泉河原の湯 ③金沢温泉金鶏の湯 ④尖石温泉縄文の湯 ⑤玉宮温泉望岳の湯 ⑥米沢温泉塩壺の湯	検討	継続	<p>【機能】 市民の憩いの場として、また、観光資源として機能しているものの、利用者が減少傾向にあること、老朽化が進み維持管理費が増大する状況にあることから、施設・機能の集約化等を検討する。</p> <p>【施設】 集約化の検討結果に基づき、今後とも継続する施設については、必要な改修を行い当面継続する。</p> <p>【管理運営】 指定管理者制度での管理運営を継続する。モニタリング評価を徹底する。 当面、利用者の少ない温泉施設については、利用実態を精査し、開館日・開館時間を見直すなど管理運営の効率化を図る。</p>

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
温泉施設のあり方	市民の憩いの場として、また、観光資源として機能しているものの、施設・設備の老朽化に伴い更新・改修費用が増嵩すること、利用者も減少傾向にあること、市内には、このほかに公立と民間を合わせて7カ所の温泉施設があることから、類似施設の集約化等について検討する。 今後も継続する施設については、予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図る。	→ 検討			検討結果に基づく対応	-----→

指定管理仕様書の点検	利用者数の増加や収入の確保対策、コストの縮減などを指定管理仕様書に定めるとともに、モニタリング評価を徹底し、サービスの向上に努める。	モニタリング評価・指定管理仕様書の点検、見直し
温泉施設の受益者負担のあり方	施設ごとの原価計算を実施し、受益者負担のあり方について検討する。	検討 検討結果に基づく対応

4 病院施設

(1) 診療所施設 【所管：リバーサイドクリニック】

ア 施設概要及び現状と課題

地域住民の健康保持に必要な地域医療を確保するため、3か所の診療所を設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①リバーサイドクリニック	宮川	H12	16	29	678	直営	正5、臨7	140,865	167,273	26,408	17,053	診療日は、毎週月曜日から金曜日の8時30分から18時までと、毎週土曜日(第5土曜日を除く)8時30分から12時30分まで
②北山診療所	北山	H6	22	39	94	直営	正1、臨2	47,618	40,602	▲7,016	3,159	診療日は、毎週月曜日から金曜日の8時30分から18時まで
③泉野診療所	泉野	S32	59	17	139	直営	0	4,689	2,942	▲1,747	420	診療日は、毎週木曜日の14時から16時まで

イ 施設評価

対象施設	当面10年後の方向性		説明
	機能	建物	
1 リバーサイドクリニック	検討	検討	【機能・施設】 地域医療を確保するため、西部地域の診療施設として機能は確保するものの、より効率的な経営を図る観点から、今後のあり方について検討する。
2 北山診療所	検討	検討	【機能・施設】 地域医療を確保するため、北部地域の診療施設としての必要性はあるものの、医師確保の課題や利用状況などを踏まえ、今後のあり方を検討する。
3 泉野診療所	検討	廃止	【機能】 地域医療を確保するため、東部地域の診療施設としての必要性はあるものの、利用状況を踏まえ、今後のあり方を検討する。 【施設】 施設は、昭和32年度に建設した建物で、耐震基準を満たしていない可能性が高く、老朽化が激しいことから廃止する。

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①リバーサイドクリニックの管理運営のあり方	地域医療を確保するために、診療施設の機能は継続するものの、今後も安定した経営ができるように、常に、管理運営のあり方について検討する。		→ 検討	→ 検討結果に基づく対応	-----→	-----→
①リバーサイドクリニック、②北山診療所の長寿命化	併設する保健福祉サービスセンター等と一体的に、予防保全を含め計画的に改修を行い、長寿命化を図る。		→ 劣化診断、保全計画の検討・策定	→ 計画に基づく対応	-----→	-----→
②北山診療所の今後のあり方	診療施設の機能は継続するものの、一般会計からの繰入金に依存している状況から、地域の民間診療所の開設状況を精査し、今後のあり方について検討する。		→ 検討	→ 検討結果に基づく対応	-----→	-----→
③泉野診療所の今後のあり方	診療施設としての機能の必要性はあるものの、1日あたりの患者数が約9人であること、施設の耐震性や老朽化への課題があることから、施設は廃止し、診療所の今後のあり方について検討する。		→ 検討	→ 検討結果に基づく対応	-----→	-----→

5 住宅施設

(1) 市営住宅施設 【所管：都市計画課】

ア 施設概要及び現状と課題

住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸する住宅として公営住宅、及び中堅所得者に賃貸する市単独住宅を設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)※1	収入額(千円)※2	差引収支(千円)	入居世帯数(人)	利用状況
①ひばりヶ丘団地(旧)	宮川	S40	51	38	1,538	直営	正1	450	1,640	1,190	26	管理戸数は44戸、入居戸数は26戸、入居率59%、入居者退去後は新たな募集は停止(政策的に空き家)
②ひばりヶ丘団地(新)	宮川	H9	19	47	5,044	直営		25,996	14,144	▲11,852	63	A棟は管理戸数18戸、B棟は管理戸数6戸、C棟は管理戸数8戸、D棟は管理戸数4戸、E棟は管理戸数27戸、計63戸
③みどりヶ丘団地	宮川	S45	46	38	3,638	直営		1,199	6,689	5,490	81	管理戸数は100戸、入居戸数は81戸、入居率は81%、入居者退去後は新たな募集は停止(生活困窮者等を除く)
④小坂団地	宮川	S63	28	47	3,938	直営		13,791	16,410	2,619	44	管理戸数は50戸、入居戸数は44戸、入居率は88%
⑤サンコーポラス旭ヶ丘	金沢	H6	22	47	5,236	直営		4,136	18,283	14,147	52	管理戸数は80戸、入居戸数は52戸、入居率65%

※1 上記のほか、平成28年度支出には工事費として、23,534千円(④小坂団地浴室改修工事 13,230千円含む)が計上されています。

①ひばりヶ丘団地(旧) 149千円、②ひばりヶ丘団地(新) 2,744千円、③みどりヶ丘団地 2,934千円、④小坂団地 15,743千円、⑤サンコーポラス旭ヶ丘 1,964千円

※1 平成28年度支出には減価償却費が含まれています。②ひばりヶ丘団地(新) 23,682千円、④小坂団地 11,632千円

※2 上記のほか、平成28年度収入には④小坂団地浴室改修工事に伴う国庫補助金3,095千円が計上されています。

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説 明
	機能	建物	
市営住宅			<p>【機能・施設】</p> <p>住宅に困窮する所得の低い市民に対して、低廉な家賃で住宅を提供する公営住宅の機能は必要なものの、一方では、市内に民間賃貸住宅の空き家が生じていることから、国における民間ストックを活用した公営住宅の提供指針を踏まえ、茅野市における公営住宅の管理戸数を示したうえで、市と民間との役割を明確にし、老朽化した住宅については、用途廃止する。</p> <p>【管理運営】</p> <p>民間委託を活用しながら、効率的な管理運営を進める。</p>
1 ひばりヶ丘団地（旧）	廃止	廃止	<p>【機能・施設】</p> <p>昭和 40 年（1965 年）に旧耐震基準で建設した建物で、建築から 51 年経過し、老朽化が顕著なことから廃止する。</p>
2 ひばりヶ丘団地（新）	継続	継続	<p>【機能・施設】</p> <p>平成 9 年（1997 年）に新耐震基準で建設した建物で、建築から 19 年経過している。予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図る。</p>
3 みどりヶ丘団地	検討	検討	<p>【機能・施設】</p> <p>昭和 45 年（1970 年）に旧耐震基準で建設した建物で、建築から 46 年経過し老朽化が顕著なことから、存廃を含めて、今後のあり方について検討する。</p>
4 小坂団地	継続	継続	<p>【機能・施設】</p> <p>昭和 63 年（1988 年）に新耐震基準で建設した建物で、建築から 28 年経過しているものの、これまでに外壁などの改修を行っていることから、予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図る。</p>
5 サンコーポラス旭ヶ丘	継続	継続	<p>【機能】</p> <p>中堅所得者に対して住宅を提供し、移住・定住対策に寄与していることから、当面継続する。</p> <p>【施設】</p> <p>平成 6 年（1994 年）に新耐震基準で建設した建物で、建築から 22 年経過している。必要な改修を行い耐用年数まで使用する。</p>

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
民間ストックを活用した公営住宅の提供	公営住宅に対するニーズを精査し、市の管理戸数を明確にしたうえで、その管理戸数の範囲で民間のストックを活用した公営住宅の提供のあり方について検討する。	→ 検討		検討結果に基づく対応	-----→	
収納対策の強化	住宅使用料の未納者に対して、負担の公平性の観点から、収納対策の強化を図る。	→ 検討	検討結果に基づく対応 -----→			

効率的・効果的な運営	民間活力の活用や長野県住宅供給公社への管理代行などの管理運営方法について、他自治体との共同委託を含めて検討する。	→ 検討	検討結果に基づく対応 →
②ひばりヶ丘団地(新)、④小坂団地の長寿命化	予防保全を含めた計画的な改修を行い、施設の長寿命化を図る。	→ 劣化診断、保全計画の検討・策定	計画に基づく対応 →
⑤サンコーポラス旭ヶ丘の活用	公営住宅としての機能に加え、子育て世帯への支援や移住促進のための支援への活用について検討する。	→ 検討	検討結果に基づく対応 →
①ひばりヶ丘団地(旧)の廃止	建築から51年経過し、老朽化が顕著なことから廃止する。	→ 検討	検討結果に基づく対応 → 廃止
③みどりヶ丘団地の今後のあり方	建築から46年経過し老朽化が顕著なことから、存廃を含めて、今後のあり方について検討する。	→ 検討	検討結果に基づく対応 →

6 子育て支援施設

(1) 保育所施設 【所管：幼児教育課】

ア 施設概要及び現状と課題

児童福祉法に基づき保育を必要とする乳幼児の健全な心身の発達を図ることを目的に 15 の公立保育所を設置しています。なお、市内には、私立の保育所が3園（うち1園が平成29年4月から幼保連携型認定こども園に変更）、幼稚園が1園設置されています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	児童数/定員(人)	利用状況
①茅野市ちの保育園	ちの	H19	9	47	1,772	直営	正14、臨9	122,157	45,795	▲ 76,362	190/200	各保育園は年末・年始と日曜、祝日を除く月曜日から金曜日の7時30分から18時30分まで(泉野保育園と笹原保育園は8時から16時、みどりが丘保育園は7時30分から16時、ちの保育園と宮川保育園及び玉川保育園は7時30分から19時)保育を実施しています。 土曜日については、園ごとに開所時間は異なりますが、全園で受け入れを行っています。 特別保育事業として、全園で障害児保育を、また、延長保育と一時保育を一部の保育園で実施しています。 このほか、子育て支援事業として、全園で、未就園児交流や地域交流、育児相談を実施しています。
②茅野市宮川保育園	宮川	H26	2	34	1,402		正10、臨10	96,710	26,980	▲ 69,730	131/120	
③茅野市玉川保育園	玉川	H1	27	34	1,421		正14、臨10	124,592	42,794	▲ 81,798	197/220	
④茅野市湖東保育園	湖東	H6	22	34	1,089		正6、臨6	59,325	17,548	▲ 41,777	77/130	
⑤茅野市豊平保育園	豊平	H23	5	34	1,296		正7、臨5	63,271	22,638	▲ 40,633	98/100	
⑥茅野市中央保育園	ちの	H17	11	34	1,382		正7、臨7	68,894	17,311	▲ 51,583	83/90	
⑦茅野市米沢保育園	米沢	H11	17	34	1,092		正6、臨4	53,593	14,423	▲ 39,170	64/120	
⑧茅野市金沢保育園	金沢	H13	15	34	995		正7、臨5	62,370	13,139	▲ 49,231	67/100	
⑨茅野市泉野保育園	泉野	H8	20	34	886		正5、臨3	43,221	7,420	▲ 35,801	43/60	
⑩茅野市北山保育園	北山	S48	43	22	908		正6、臨3	49,929	11,685	▲ 38,244	62/100	
⑪茅野市小泉保育園	玉川	S49	42	22	858		正6、臨5	55,305	9,550	▲ 45,755	49/90	
⑫茅野市宮川第二保育園	宮川	S50	41	22	786		正4、臨7	48,827	8,351	▲ 40,476	44/60	

⑬茅野市中大塩保育園	中大塩	S56	35	34	1,398	正6、臨4	52,811	16,845	▲ 35,966	79/100
⑭茅野市みどりヶ丘保育園	宮川	S49	42	22	997	正8、臨5	69,035	12,025	▲ 57,010	66/90
⑮茅野市笹原保育園	湖東	S58	33	34	403	正2、臨1	15,505	4,173	▲ 11,332	23/35

※ 上記のほか、平成28年度支出には工事費 9,528千円が計上されています。

- ①ちの保育園 496千円、②宮川保育園 270千円、③玉川保育園 1447千円、④湖東保育園 591千円、⑤豊平保育園 536千円、
 ⑥中央保育園 85千円、⑦米沢保育園 1361千円、⑧金沢保育園 140千円、⑨泉野保育園 1257千円、⑩北山保育園 378千円
 ⑪小泉保育園 768千円、⑫宮川第二保育園 33千円、⑬中大塩保育園 102千円、⑭笹原保育園 1914千円、⑮みどりヶ丘保育園 150千円

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説 明
	機能	建物	
保育園	—	—	<p>【機能】 少子化に伴い児童数が減少にあるものの、共働き世帯の増加に伴い、保育にかかるニーズが高まっていることから、引き続き保育園の運営を行う。 ただし、園によっては、施設規模に見合った定数となっていないこと、私立保育所の参入も考えられること、公立と私立のサービス水準がほぼ同等のなかで費用対効果も視野に入れる必要があることなどから、公立保育所の役割を明確にしたうえで、配置のあり方について検討する。</p> <p>【施設】 上記の検討結果に基づき、今後の保育所施設のあり方を検討する。 なお、耐震基準を満たしていない建物については、安全対策上、耐震補強を含め大規模改修工事を実施する。</p> <p>【管理運営】 施設配置のあり方の検討にあわせ、管理運営手法について、民間活力の活用を含め検討する。</p>
1 茅野市ちの保育園	継続	継続	耐震基準を満たしているものの、老朽化が進んでいる施設もあり、予防保全を含め計画的に改修を行い、長寿命化を図る
2 茅野市宮川保育園			
3 茅野市玉川保育園			
4 茅野市湖東保育園			
5 茅野市豊平保育園			
6 茅野市中央保育園			
7 茅野市米沢保育園			
8 茅野市金沢保育園			
9 茅野市泉野保育園			

10 茅野市北山保育園	継続	改修	耐震基準を満たしてなく、築後約40年となっていることから、将来の動向を見据え、大規模改修を実施する。
11 茅野市小泉保育園			
12 茅野市宮川第二保育園			
13 茅野市中大塩保育園			
14 茅野市みどりヶ丘保育園	継続	改修	耐震基準を満たしてなく、建築から42年経過している。地域の児童数の動向や利用状況の実態に鑑み、耐震改修を実施する。
15 茅野市笹原保育園	検討	検討	耐震基準は満たしているものの、老朽化が進んでいる。利用状況の実態に鑑み、民営化での運営を検討する。

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①～⑬ 公立保育所のあり方	児童数が減少にあるものの共働き世帯の増加に伴い、保育にかかるニーズが高まっていることから引き続き保育園の運営を行います。園によっては、施設規模に見合った定数となっていないこと、私立保育所の参入も考えられること、公立と私立のサービス水準がほぼ同等のなかで費用対効果も視野に入れる必要があることなどから、公立保育所の役割を明確にしたうえで、私立保育所の配置状況や定員と受け入れ状況を勘案し、公立保育所の配置のあり方及び民間活力を活用した保育所の運営について検討する。	→ 検討		検討結果に基づく対応 →		
公立保育園の長寿命化 (⑩～⑮を除く)	今後も公立保育所として運営していく保育園については、予防保全を含めた計画的な改修を実施し長寿命化を図る。	→ 劣化診断、保全計画の検討・策定		計画に基づく対応 →		
⑩茅野市宮川第二保育園と⑬茅野市中大塩保育園の大規模改修	耐震基準を満たしていないことから耐震補強と併せて、令和元年(2019年)に大規模改修を実施。	→ 大規模改修工事				
⑭茅野市みどりヶ丘保育園の大規模改修	統廃合検討委員会での議論や今後の宮川地区の児童数の動向等を踏まえる中で10年間は存続。耐震基準を満たしていないことから耐震補強と併せ必要な改修を行う。	→ 方針決定 実施設計	→ 耐震改修工事			
⑮茅野市笹原保育園の統廃合	統廃合検討委員会での議論や今後の児童数の動向等を踏まえ、令和2年度(2020年度)までに最終的な決定を行う。	→ 統廃合検討委員会の設置、検討		検討結果に基づく対応 →		

(2) 学童クラブ施設 【所管：学校教育課】

ア 施設概要及び現状と課題

放課後や夏休みなどの学校休業日等に家庭で監護ができない小学1年生から6年生まで(養護学校学童クラブは小学1年生から中学3年生まで)を

対象に、遊びや生活の場を提供する施設として、市内全小学校と長野県諏訪養護学校内に 14 学童クラブを設置しています。

なお、共働き世帯の増加等により平成 31 年（2019 年）4 月から茅野市第三永明小学校学童クラブ、茅野市第三宮川小学校学童クラブ、茅野市第四玉川小学校学童クラブ、茅野市第五玉川小学校学童クラブの 4 学童クラブを追加設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)	収入額(千円)※	差引収支(千円)	児童数/定員(人)	利用状況
①茅野市第一永明小学校学童クラブ	ちの	S48	43	47	87	直営	臨5	8,260	3,098	▲ 5,162	59/68	小学校の空き教室を有効活用して開設し、共有スペースについては各小学校と併せて使用しています。 対象は、昼間、保護者が家庭にいない1年生から6年生までの児童で、家庭的な雰囲気の中で放課後児童支援員(以下「支援員」という。)による生活指導等により、児童の健全育成を図っています。 開設日・開設時間は、年末・年始と土曜日、日曜日、国民の祝日、8月13日～8月16日、卒業式の日と3月31日以外の日を除く毎日(養護学校学童クラブは卒業式、3月31日を含む)、通常期が下校時刻から18時30分まで(養護学校学童クラブは17時まで)、休業期が8時から18時30分まで(養護学校学童クラブは8時30分から17時30分まで)。
②茅野市第二永明小学校学童クラブ	ちの	S48	43	47	72	直営	臨4	6,160	2,311	▲ 3,849	44/60	
③茅野市第一宮川小学校学童クラブ	宮川	S51	40	47	66	直営	臨3	4,480	1,680	▲ 2,800	32/54	
④茅野市第二宮川小学校学童クラブ	宮川	S51	40	47	66	直営	臨4	6,300	2,363	▲ 3,937	45/62	
⑤茅野市米沢小学校学童クラブ	米沢	S56	35	47	75	直営	臨2	4,200	1,576	▲ 2,624	30/40	
⑥茅野市豊平小学校学童クラブ	豊平	S55	36	47	89	直営	臨2	3,640	1,365	▲ 2,275	26/35	
⑦茅野市第一玉川小学校学童クラブ	玉川	S54	37	47	110	直営	臨4	7,700	2,888	▲ 4,812	55/61	
⑧茅野市第二玉川小学校学童クラブ	玉川	S54	37	47	66	直営	臨2	4,200	1,576	▲ 2,624	30/40	
⑨茅野市第三玉川小学校学童クラブ	玉川	S54	37	47	66	直営	臨3	4,620	1,733	▲ 2,887	33/58	
⑩茅野市泉野小学校学童クラブ	泉野	S57	34	47	30	直営	臨2	700	263	▲ 437	5/18	
⑪茅野市金沢小学校学童クラブ	金沢	S56	35	47	63	直営	臨2	1,400	525	▲ 875	10/21	
⑫茅野市湖東小学校学童クラブ	湖東	S57	34	47	58	直営	臨3	4,200	1,576	▲ 2,624	30/38	
⑬茅野市北山小学校学童クラブ	北山	S56	35	47	99	直営	臨2	1,680	630	▲ 1,050	12/18	
⑭茅野市養護学校学童クラブ	富士見町	-	-	-	128	直営	委託	20,918	5,605	▲ 15,313	16/未定	

※ 上記の他、収入額として国・県補助金 33,455千円(⑭茅野市養護学童クラブ分4,694千円含む)があります。

⑭茅野市養護学校学童クラブの収入には、富士見町・原村の負担金が含まれています。

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説 明
	機能	建物	
①～⑭ 学童クラブ	継続	継続	<p>【機能】 少子化に伴い児童数は減少しているものの、共働き世帯が増加するなかで、子育て支援の観点から必要なクラブを確保する。</p> <p>【施設】 子育て支援の観点から、引き続き、必要な部屋数を確保する。</p> <p>【管理運営】 当面、現行通り。 運営の創意工夫の観点から民間活力を活用した管理運営手法について検討する。</p>

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①～⑭ 学童クラブの適正規模	今後も、各小学校区に必要な学童クラブを確保し、児童1人あたりの基準面積に満たない学童クラブについては、定員の見直し若しくは他の施設への移転、増設について検討する。	→ 検討 →		検討結果に基づく対応	-----→	
①～⑭ 学童クラブの管理運営	直営での管理運営方式について、運営の創意工夫の観点から、民間活力を活用した運営方式若しくは、利用団体・地域団体による運営方式の導入について検討する。	→ 検討 →		検討結果に基づく対応	-----→	
学童クラブの受益者負担の適正化	利用料について、受益者負担の適正化の観点から、定期的に検証する。	→ 検討 →		検討結果に基づく対応	-----→	

(3) こども館等施設 【所管：こども課、生涯学習課】

ア 施設概要及び現状と課題

屋内の公園として、主に0歳から3歳までの親子の居場所、人としての交流拠点、子育て、子育て、親育ちの場として、茅野市こども館0123広場を、中高生世代の若者が「安心して過ごせる場所」「夢や希望をかなえる場所」として、茅野市こども館CHUKOらんどチノチノを設置しています。

また、幼児・子どもの居場所の提供と、地域における子育て・子育てを応援する活動拠点として地区こども館を設置しています。

このほか、市民の子育て、親育ち、子育て、並びに男女共同参画社会づくりを支援するため、家庭教育センターを設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)※	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
① 茅野市こども館0123広場	ちの	S62	29	50	1,219	直営	正2、嘱3	23,966	5,680	▲ 18,286	19,516	様々な相談(約380件)、利用者運営委員会主催のイベント5回(延べ約950組参加)、子育て講座21回(延べ約950組参加)等
② 茅野市こども館CHUKOらんどチノチノ	ちの	S62	29	50	770	直営	正1、嘱2	11,793	0	▲ 11,793	17,431	利用者自らがバンドやダンスの発表イベント等を企画・運営 新入生歓迎ライブやチノチノ文化祭を実施など
③	ちの地区こども館	ちの	H7	21	57	直営	臨1	22,327	0	▲ 22,327	26,327	地区こども館は、平成15年度(2003年度)から16年度(2004年度)にかけて、各地区コミュニティセンター内(ちの地区は茅野市家庭教育センター内、宮川地区は茅野市中央公民館内)に設置したもので、図書館分室を兼ねています。 利用日・利用時間は、基本的に月曜日から土曜日までの9時30分から17時までで(地区によって異なります)、管理運営は、館長(地区コミュニティセンター所長)と臨時職員を配置し、各地区のこども館運営委員会が担い、読み聞かせや地域文化の継承、未就園児を対象とした行事等、それぞれ特色ある活動が行
	宮川地区こども館	宮川	S53	38	50	直営	臨1				6,598	
	米沢地区こども館	米沢	S58	33	38	直営	臨1				11,999	
	豊平地区こども館	豊平	S60	31	38	直営	臨1				5,345	
	玉川地区こども館	玉川	S56	35	38	直営	臨1				17,639	
泉野地区こども館	泉野	S57	34	38	直営	臨1	5,596					

金沢地区こども館	金沢	S59	32	38	27	直営	臨1				6,346	われています。
湖東地区こども館	湖東	S57	34	38	24	直営	臨1				7,673	
北山地区こども館	北山	S63	28	38	29	直営	臨1				7,270	
中大塩地区こども館	中大塩	S54	37	38	112	直営	臨1				7,861	
④ 茅野市家庭教育センター	ちの	H7	21	38	727	直営	正1、再1 臨2	24,157	5,424	▲ 18,733	46,414	未就園児親子対象の遊びの広場・えほんとなかよし・からだであそぼうや、親対象の子育て講座(託児あり)など54回実施

※ 上記のほか、平成28年度支出には工事費 150千円(①茅野市こども館0123広場)が計上されています。

イ 施設評価

対象施設	当面10年後の方向性		説明
	機能	建物	
1 茅野市こども館 0123広場	継続	継続	<p>【機能】 子育て支援の活動の拠点として、年間約2万組の利用があることから、今後も継続する。</p> <p>【施設】 施設はベルビア全体で対応する。</p> <p>【管理運営】 現行の直営方式について、専門性を有する職員の確保などの観点から、民間活力の活用について検討する。</p>
2 茅野市こども館 CHUKOらんど チノチノ	継続	継続	<p>【機能】 中高生世代の居場所として、年間17,500人が利用している状況から、今後も継続する。</p> <p>【施設】 施設はベルビア全体で対応する。</p> <p>【管理運営】 現行の直営方式について、専門性を有する職員の確保などの観点から、民間活力の活用について検討する。</p>
3 地区こども館	継続	継続	<p>【機能・施設・管理運営】 主に子どもの居場所と誰でも利用できる図書館分室として定着し、特色ある子育て応援が実施されていることから、今後も継続する。</p> <p>なお、各地区こども館は地区コミュニティセンター内(ちの地区は家庭教育センター内、宮川地区は中央公民館内)に設置していることから、地区コミュニティセンターの再編にあわせ、地区こども館のあり方について検討する。</p>
4 茅野市家庭教育センター	検討	検討	<p>【機能】 家庭教育センターや0123広場、健康管理センターなどが取り組む子育て世代に対する様々な施策を体系的に整理するとともに、子育て世代包括支援センターとの関係を整理し、家庭教育センターのあり方について検討する。</p> <p>【施設】 平成7年(1995年)に新耐震基準で建設した建物で、築21年を経過している。上記の検討結果に基づき、施設の活用方法について検討する。</p>

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①茅野市こども館0123広場、②茅野市こども館CHUKOらんどチノチノの管理運営	子育て支援拠点としての茅野市こども館0123広場、中高生世代の居場所としての茅野市こども館CHUKOらんどチノチノは継続する。 管理運営については民間活力の活用ができるのか検討する。	→ 検討		検討結果に基づく対応	-----→	
③地区こども館のあり方	地域における子育て拠点施設として位置付けられており、今後も継続する。 地区コミュニティセンター内に設置されており、地区コミュニティセンターの学校施設等への複合化などの再編にあわせ、地区こども館のあり方について検討する。	→ 検討		検討結果に基づく対応	-----→	
④茅野市家庭教育センターのあり方	茅野市こども館0123広場、茅野市健康管理センターなどが取り組む子育てに関する様々な施策を体系的に整理し、効果的・効率的な施策展開を図るなかで家庭教育センターのあり方について検討する。	→ 検討		検討結果に基づく対応	-----→	

(4) 発達支援センター施設 【所管：こども課】

ア 施設概要及び現状と課題

心身の発達に早期の療育や支援などを必要とする乳幼児及びその家族のための母子訓練施設（保護者同伴の通園訓練施設）として設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①やまびこ園	ちの	H17	11	34	303	直営	正2.5 嘱3、臨0.5	30,746	572	▲ 30,174	32	乳幼児健診後からのつながりで子ども及びその家族への相談・支援

イ 施設評価

対象施設	当面10年後の方向性		説明
	機能	建物	
1 やまびこ園	継続	継続	【機能】 心身の発達に早期の療育や支援などを必要とする乳幼児及びその家族のための母子通園訓練施設として継続する。 【施設】 茅野市中央保育園との複合施設であり、同保育園と一体的に対応する。

			【管理運営】 現行どおり。
--	--	--	------------------

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①茅野市発達支援センターの役割と運営体制	児童福祉法における児童発達支援センター的な役割を担う発達支援体制の実施機関として今後も継続する。継続的な相談支援体制が求められているなかで、茅野市こども館0123広場、茅野市健康管理センター、保健福祉サービスセンター、茅野市家庭教育センターを含め、子育て支援に関する施策を体系的に整理するとともに、各機関の役割と運営体制について検討する。	← 検討 →		検討結果に基づく対応 →		

(5) 病児病後児施設 【所管：幼児教育課】

ア 施設概要及び現状と課題

保護者が就労している場合等において、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合の保育需要に対応するため、専用施設において一時的に保育を行う施設です。令和2年度（2020年度）に市が実施主体の施設として開園します。

ウ 今後の方針とスケジュール

平成18年度（2006年度）から、保育園・幼稚園・小学校に通園・通学している生後6か月から10歳までの児童を対象に、民間の医療機関に併設された専用施設で病児病後児保育事業を実施してきましたが、令和元年度（2019年度）でこの事業が終了となることから、市が実施主体として事業の継続を行なう。

7 行政系施設

(1) 行政系施設 【所管：管理課、市民課、総務課】

ア 施設概要及び現状と課題

市民の暮らしに必要な各種手続きや相談窓口など行政サービスの提供のほか、議会機能・防災機能などを備えた市役所庁舎を設置しています。

また、市民の利便性の向上を図るため、地区コミュニティセンターの職員を兼務で2名配置し、住民票や戸籍などに関する諸証明の交付や税金等の収納業務を行う10か所の出張所を設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)※	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
① 茅野市役所	ちの	H6	22	50	16,503	直営	-	109,606	8,220	▲ 101,386	-	開設日・開設時間は、土曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く毎日、8時30分から17時15分。8階にや目的ホール設置

② 茅野駅前 ベルビア出張所	ちの	S62	29	50	56	直営	正1、臨1	-	-	-	6,280	開設日・開設時間は、木曜日と年末年始を除く毎日、10時から19時まで。住民票等約8,000件、税証明約1,700件、税等の収納約5,300件
③ 宮川出張所	宮川	H2	26	38	26	直営	-	-	-	-	-	各種証明発行約610件、税金等収納約630件
④ 米沢出張所	米沢	S58	33	38	17	直営	-	-	-	-	-	各種証明発行約610件、税金等収納約600件
⑤ 豊平出張所	豊平	S60	31	38	24	直営	-	-	-	-	-	各種証明発行約540件、税金等収納約680件
⑥ 玉川出張所	玉川	S56	35	38	25	直営	-	-	-	-	-	各種証明発行約790件、税金等収納約690件
⑦ 泉野出張所	泉野	S57	34	38	30	直営	-	-	-	-	-	各種証明発行約450件、税金等収納約440件
⑧ 金沢出張所	金沢	S59	32	38	24	直営	-	-	-	-	-	各種証明発行約560件、税金等収納約240件
⑨ 湖東出張所	湖東	S57	34	38	17	直営	-	-	-	-	-	各種証明発行約830件、税金等収納約520件
⑩ 北山出張所	北山	S63	28	38	26	直営	-	-	-	-	-	各種証明発行約660件、税金等収納約480件
⑪ 中大塩出張所	中大塩	S54	37	38	35	直営	-	-	-	-	-	各種証明発行約660件、税金等収納約820件

※ 上記のほか、平成28年度支出には工事費 60,846千円(①茅野市役所)が計上されています。

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説 明
	機能	建物	
1 茅野市役所	継続	継続	<p>【機能】 本庁舎及び議会棟については、茅野市における行政の中核機関及び議決機関として継続する。</p> <p>【施設】 庁舎については、平成 6 年（1994 年）に新耐震基準で建設した建物で、建築から 22 年経過している。予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図る。 議会棟については、昭和 49 年（1974 年）に旧耐震基準で建設した建物で、平成 6 年（1994 年）に大規模な改修工事、平成 20 年（2008 年）に耐震補強工事を実施しているものの、建築から 42 年経過し、老朽化が進んでいることから、必要な改修を行ない使用する。</p> <p>【管理運営】 当面、現行どおり。窓口業務への民間活力の導入について検討する。</p>
2 茅野駅前ベルビア出張所	継続	継続	<p>【機能】 木曜日と年末年始を除く毎日、10 時から 19 時まで開設し、市民サービスの向上を図っており継続する。</p> <p>【施設】 施設はベルビア全体で対応する。</p> <p>【管理運営】 当面、現行どおり。市全体の窓口業務の見直しに合わせ、管理運営方法について検討する。</p>

3 宮川出張所	検討	検討	【機能】 市民の利便性の確保のため、出張所の機能は継続する。宮川出張所については、ベルビア出張所との近接性から配置のあり方について検討する。 【施設・管理運営】 地区コミュニティセンターの他施設への複合化や市役所全体の窓口業務への民間活力の導入の状況を見ながら、出張所のあり方、管理運営のあり方について検討する。
4 米沢出張所			
5 豊平出張所			
6 玉川出張所			
7 泉野出張所			
8 金沢出張所			
9 湖東出張所			
10 北山出張所			
11 中大塩出張所			

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①茅野市役所（議会棟を含む）の長寿命化	茅野市政の中核機関であり、議決機関として、防災拠点として継続し、予防保全を含めた計画的な改修を行い、長寿命化を図る。	劣化診断、保全計画の検討・策定		計画に基づく対応	----->	
①～⑩茅野市役所全体の窓口業務のあり方	窓口サービスの効果的、効率的な運用や市民サービスの向上を図るため、窓口業務への民間活力の導入事例を調査・研究し、窓口業務のあり方について検討する。	検討		計画に基づく対応	----->	
②茅野駅前ベルビア出張所と周辺出張所の配置のあり方	住民の利便性を確保する観点から継続するものの、周辺出張所との近接性から、配置のあり方について検討する。	検討		検討結果に基づく対応	----->	
③～⑩各地区出張所の施設の配置、管理運営方法	当面、現行どおり継続するものの、コミュニティセンターのあり方、市役所全体の窓口業務のあり方の検討にあわせて、施設の配置、管理運営方法について検討する。	検討		検討結果に基づく対応	----->	

(2) 教職員住宅施設 【所管：学校教育課】

ア 施設概要及び現状と課題

茅野市立の小学校又は中学校に勤務する教職員とその家族に住居を提供するため、教職員住宅を設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	支出額(千円) ※	収入額(千円)	差引収支(千円)	入居世帯数/管理戸数	利用状況
①塚原教職員住宅	ちの	S46	45	22	134	直営				1/2	管理戸数は2戸で、各部屋2DK、家賃は月額9,000円
②塚原第3教職員住宅	ちの	S63	28	38	173	直営				1/3	管理戸数は3戸で、各部屋3DK、家賃は月額16,000円
③宮川茅野教職員住宅	宮川	S59	32	22	273	直営				4/6	管理戸数は6戸で、2Kが4戸、2DKが2戸、家賃は2Kが月額15,000円、2DKが月額16,000円

④ 鋳物師屋教職員住宅	米沢	H1	27	22	142	直営	1,723	3,196	1,473	2/2	管理戸数は2戸で、各部屋3K、家賃は月額25,000円
⑤ 小堂見第1教職員住宅	玉川	S57	34	22	119	直営				1/2	管理戸数は2戸で、各部屋2DK、家賃は月額12,000円
⑥ 小堂見第2教職員住宅	玉川	S61	30	22	128	直営				1/2	管理戸数は2戸で、各部屋3DK、家賃は月額24,000円
⑦ 下槻木第1教職員住宅	泉野	S57	34	22	61	直営				0/1	管理戸数は1戸で、3DK、家賃は月額16,000円
⑧ 下槻木第2教職員住宅	泉野	S61	30	22	61	直営				0/1	管理戸数は1戸で、3DK、家賃は月額24,000円
⑨ 下槻木第3教職員住宅	泉野	H3	25	22	116	直営				0/3	管理戸数は3戸で、各部屋2K、家賃は月額23,000円
⑩ 金沢本町教職員住宅	金沢	S56	35	22	119	直営				0/2	管理戸数は2戸で、各部屋2DK、家賃は月額11,500円
⑪ 青柳教職員住宅	金沢	S61	30	22	61	直営				1/1	管理戸数は1戸で、3DK、家賃は月額24,000円
⑫ 堀第2教職員住宅	湖東	S57	34	22	60	直営				0/1	管理戸数は1戸で、3DK、家賃は月額24,000円
⑬ 菅沢教職員住宅(借地)	湖東	H6	22	22	82	直営				2/3	管理戸数は3戸で、各部屋1K、家賃は月額23,000円
⑭ 中大塩教職員住宅	中大塩	S60	31	22	248	直営				1/6	管理戸数は6戸で、2Kが4戸、2DKが2戸、家賃は2Kが月額14,000円、2DKが月額16,000円

※ 平成28年度支出には、②塚原第3教職員住宅の減価償却388千円が含まれています。

イ 施設評価

対象施設	当面10年後の方向性		説 明
	機能	建物	
教職員住宅 ①塚原教職員住宅 ②塚原第3教職員住宅 ③宮川茅野教職員住宅 ④鋳物師屋教職員住宅 ⑤小堂見第1教職員住宅 ⑥小堂見第2教職員住宅 ⑦下槻木第1教職員住宅 ⑧下槻木第2教職員住宅 ⑨下槻木第3教職員住宅 ⑩金沢本町教職員住宅 ⑪青柳教職員住宅 ⑫堀第2教職員住宅 ⑬菅沢教職員住宅 ⑭中大塩教職員住宅	廃止	転用 ・ 売却	【機能・施設】 所有戸数（35戸）のうち、半数以上が入居していないこと、市内に民間の賃貸住宅の空き家が多数あることから、現在の入居者に配慮しつつ教職員住宅としての機能は廃止する。 老朽化して使用が困難な施設については廃止する一方、建築年次の新しい施設で小規模な修繕によって使用可能な住宅については、子育て世代向けの住宅や定住対策向けの住宅などに使用するほか、民間への売却を含め、後活用を検討する。

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
教職員住宅の用途変更や売却	今後の募集を停止し、空き家の住宅については、教職員住宅の機能は廃止し、子育て世帯向け住宅や定住対策向け住宅として用途変更若しくは民間への売却を進める。 現在入居者が使用している住宅については、当面継続し、必要な改修を行い使用し、現入居者が退去した段階で、他用途への転換若しくは民間への売却を進める。	→ 検討	検討結果に基づく対応 →			

(3) 倉庫施設 【管理課、防災課、建設課、消防課】

ア 施設概要及び現状と課題

市の業務を遂行する上で使用する建設等に関する資機材や災害時に必要な物資を保管するため4か所に倉庫を設置しています。

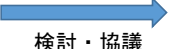

また、水害による被害を防ぐため、茅野市水防計画に基づき、水防倉庫を市内各地区に設置しています。

施設名		地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用状況
倉庫	①茅野市役所北倉庫	ちの	S41	50	50	677	直営	153	107	▲46	上下水道事業の資機材などを保管
	②防災倉庫	ちの	S41	50	22	354	直営	331	0	▲331	防災倉庫として物資を保管
	③中沢倉庫	玉川	S53	38	50	204	直営	0	0	0	建設資材等を保管
	④上川プレハブ倉庫	ちの	S57	34	17	33	直営	0	0	0	現在は使用していません
水防倉庫	⑤ちの水防倉庫	ちの	S60	31	17	20	直営	0	0	0	土のうや防水シート、ロープ、杭など水防資機材を格納
	⑥宮川水防倉庫	宮川	S52	39	24	40	直営	0	0	0	
	⑦米沢水防倉庫	米沢	H2	26	24	21	直営	0	0	0	
	⑧豊平水防倉庫	豊平	H2	26	24	31	直営	0	0	0	
	⑨玉川水防倉庫	玉川	S61	30	17	32	直営	0	0	0	
	⑩泉野水防倉庫	泉野	S59	32	17	17	直営	0	0	0	
	⑪金沢水防倉庫	金沢	H1	27	17	31	直営	0	0	0	
	⑫湖東水防倉庫	湖東	S63	28	17	15	直営	0	0	0	
	⑬北山水防倉庫	北山	S63	28	17	33	直営	0	0	0	
	⑭中大塩水防倉庫	中大塩	H22	6	38	16	直営	0	0	0	

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説 明
	機能	建物	
1 市役所北倉庫 2 防災倉庫	継続	検討	<p>【機能】 市の業務に使用する資機材を保管する機能、発災時の応急対応のために必要な資機材を確保する機能、文書を保管するための書庫機能は継続する。</p> <p>【施設】 北倉庫については、昭和 41 年（1966 年）に建設した建物で、建築から 50 年経過している。耐震基準を満たしていないことから、代替策を講じて廃止する。 防災倉庫は、別途検討する防災センターの整備検討のなかで調整する。</p>
3 中沢倉庫	継続	検討	<p>【機能】 建設用の資材等を保管する機能は必要なことから、市全体として倉庫機能の集約化の方向で配置及び管理運営のあり方について検討する。</p> <p>【施設】 中沢倉庫は昭和 53 年（1978 年）に建設した建物で、建築から 38 年経過し、耐震基準を満たしていないことから、移転先を確保することを前提に廃止する。</p>
4 上川プレハブ倉庫	廃止	廃止	<p>【機能・施設】 現在未使用であり、老朽化が激しいことから廃止する。</p>
5 ～⑭ 水防倉庫	継続	継続	<p>【機能】 水害による被害を防ぐための水防資器材を保管する場所として継続する</p> <p>【施設】 老朽化の状況を把握して、必要な修繕や建替えを行い引き続き使用する。</p>

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①北倉庫の今後のあり方	市の業務に使用する資機材の保管や書庫として必要なスペースであるものの、耐震診断が未実施で、老朽化が激しいことから、建替えを含め、今後のあり方を検討する。北倉庫に入居している茅野どんぼん祭典委員会の移転先について、各団体の自立性を確保する観点を踏まえて協議を進める。	 検討・協議	検討結果に基づく対応 			

②防災倉庫	発災時に欠かせない資機材や物資を保管する場所として必要なスペースなものの、耐震基準を満たしてなく、老朽化が激しいため、別途検討を進める防災センターの整備検討の中で、必要なスペースを確保する方向で調整する。防災倉庫に入居している第三セクターの移転先について、各団体の自立性を確保する観点を踏まえて協議を進める。	→ 検討	検討結果に基づく対応 →
③中沢倉庫の集約化	建設資機材等を保管する機能は必要なことから、倉庫機能の集約化の方向で配置及び管理運営のあり方について検討する。	→ 検討	検討結果に基づく対応 →
④上川プレハブ倉庫	現在未使用であり、老朽化が激しいことから廃止する。	→ 廃止	
⑤～⑭水防倉庫の更新	水害による被害を防ぐための水防資器材を保管する場所として、施設の老朽化の状況を精査し、必要な修繕を行い引き続き使用するか、建替えを進める。	→ 必要な修繕・建替え	

8 文化・芸術施設

(1) 市民館施設 【生涯学習課】

ア 施設概要及び現状と課題

芸術から産業に至るまで、生活の全てに関わる多様な地域文化の創造に取り組む場や機会を提供し、市民の生涯学習や地域文化創造を推進する交流拠点として設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①茅野市民館	ちの	H17	11	41	10,826	指定管理	-	187,337	0	▲ 187,337	148,734	イベント74事業(ホール・美術館＝約10,000人)、共催事業14事業(ホール・美術館＝約3,300人)、収蔵作品展・調査研究5事業(収蔵作品展約7,000人)など

イ 施設評価

対象施設	当面10年後の方向性		説明
	機能	建物	
1 茅野市民館	継続	継続	<p>【機能】 市民の生涯学習活動及び文化活動の拠点として、約15万人が利用している状況にあり、今後も継続する。</p> <p>【施設】 平成17年(2005年)の新耐震基準で建設した建物で、築11年を経過している。予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図る。</p> <p>【管理運営】</p>

指定管理者制度での管理運営を継続する。指定管理仕様書の内容を精査し、モニタリング評価を徹底する。

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①茅野市民館の長寿命化	文化芸術振興の拠点施設として、また立地を活かした賑わいの創出等まちづくりの交流拠点として機能しており継続し、予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図る。	→ 保全計画の全体調整			計画に基づく対応	-----→
①茅野市民館の効率的・効果的な運営	指定管理者制度を継続するものの、市民ニーズを捉えた質の高い鑑賞事業を定期的開催するなど、より一層、効率的かつ効果的な管理運営ができるように、指定管理仕様書の見直しや、モニタリング評価の仕組みを強化する。	→ 検討	検討結果に基づく対応 -----→			

9 コミュニティ施設

(1) コミュニティ施設 【パートナーシップのまちづくり推進課】

ア 施設概要及び現状と課題

自助・共助・公助を基本とした地域コミュニティ活動の拠点施設として、市内 10 地区にコミュニティセンターを設置しています。コミュニティセンターには、出張所機能（ちの地区除く）や地区こども館（ちの・宮川地区除く）、図書館分室（ちの・宮川地区除く）、地区公民館を併設しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)※	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①ちの地区コミュニティセンター	ちの	H5	23	50	2,097	直営	正2	6,042	453	▲ 5,589	27,866	各地区コミュニティセンターは、身近な地域課題を共有し、連携・協力して課題解決に取り組む活動拠点として設置したもので、地区コミュニティ運営協議会(中大塩地区は区長会)を中心に、地区におけるコミュニティ活動に取り組んでいるほか、地域のコミュニティ団体や社会教育団体等へ施設を提供し、各種団体の様々な活動を支援しています。施設は、運営協議会や公民館、地区社会福祉協議会、区長会などが会議等で使用するほか、コミュニティ関係団体や社会教育関係団体、民間企業等の会議やサークル活動などに貸し出されています。コミュニティセンター窓口の開設日・開設時間は、土曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く毎日、8時30分から17時15分までです。施設の管理は、市が直営で行ない、地域コミュニティ活動を推進するために配置している市職員が行っています。また、会議室等の貸出は毎日、午前9時から午後10時までです。
②宮川地区コミュニティセンター	宮川	H2	26	38	400	直営	正2	2,364	123	▲ 2,241	11,094	
③米沢地区コミュニティセンター	米沢	S58	33	38	512	直営	正2	4,010	24	▲ 3,986	18,967	
④豊平地区コミュニティセンター	豊平	S60	31	38	583	直営	正2	3,594	10	▲ 3,584	10,243	
⑤玉川地区コミュニティセンター	玉川	S56	35	38	552	直営	正2	3,519	37	▲ 3,482	33,076	
⑥泉野地区コミュニティセンター	泉野	S57	34	38	546	直営	正2	4,637	165	▲ 4,472	10,481	
⑦金沢地区コミュニティセンター	金沢	S59	32	38	683	直営	正2	4,477	62	▲ 4,415	14,828	
⑧湖東地区コミュニティセンター	湖東	S57	34	38	451	直営	正2	4,134	35	▲ 4,099	11,900	
⑨北山地区コミュニティセンター	北山	S63	28	38	532	直営	正2	4,004	119	▲ 3,885	9,154	
⑩中大塩地区コミュニティセンター	中大塩	S54	37	38	783	直営	正2	3,560	284	▲ 3,276	18,756	

※ 上記のほか、平成28年度支出には工事費 1,997千円が計上されています。

④豊平地区コミュニティセンター 637千円、⑤玉川地区コミュニティセンター 150千円、⑦金沢地区コミュニティセンター 1,210千円

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説 明
	機能	建物	
①～⑩ 地区コミュニティセンター	継続	継続	<p>【機能・管理運営】</p> <p>行政課題が多様化・複雑化する中、地域における課題解決に地域がそれぞれの特性を生かして自主的に取り組む地域活動の拠点としての地区コミュニティセンターについては今後も継続する。</p> <p>なお、コミュニティセンター内の行政窓口、地区公民館、地区こども館、図書館分室等の機能について、そのあり方を検討するとともに、中長期的な視点に立って、地域経営の支援（人的、財政的、物的）の仕組みを再構築するなかで、地域の自立した管理運営の仕組みづくりについて検討する。</p> <p>【施設】</p> <p>他の公共施設への複合化を進めることを基本に、必要な改修を行い、当分の間使用する。</p>

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
地域経営の支援の仕組み	地域課題の解決に地域が地域特性を生かして自主的に取り組む地域活動の拠点として地区コミュニティセンターを継続する。 地域課題の解決に取り組むための地域経営の仕組みを再構築するとともに、地区コミュニティセンターの管理運営について地域力を活用した運営方法を検討する。	→ 検討		検討結果に基づく対応	-----→	-----→
行政窓口、地区公民館、地区こども館、図書館分室等の機能のあり方	地区コミュニティセンター内の行政窓口、地区公民館、地区こども館、図書館分室等の機能について、そのあり方を検討する。	→ 検討		検討結果に基づく対応	-----→	-----→
他の公共施設への複合化	各施設は、耐震基準は満たしているものの、老朽化が進んでいることから、他の公共施設への複合化を進めることを基本に施設の再配置を検討する。 他の公共施設への複合化の方向性について検討結果が得られるまでの間、必要な改修を行って使用する。	→ 検討		検討結果に基づく対応	-----→	-----→

(2) 市民活動センター施設 【所管：市民活動センター、パートナーシップのまちづくり推進課】

ア 施設概要

茅野市ひと・まちプラザは、市民福祉の増進を図るため設置された施設で、市民活動センターのほか、中部保健福祉サービスセンター、社会福祉協議会、福祉喫茶が入居しています。

市民活動センターは、市民活動、ボランティア活動、地域コミュニティ活動、社会貢献活動などを支援するとともに、様々な団体に交流の場を提供し、団体間の連携と結びつきをコーディネートし、新たな活動の創出と参加を促しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)※1	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)※2	利用状況
①茅野市ひと・まちプラザ	ちの	H28	0	38	1,832	直営	正2	10,411	1,730	▲ 8,681	8,012	1階は市民活動センターの事務室と貸室(3部屋)、2階は中部保健福祉サービスセンターと社会福祉協議会の事務室及び倉庫、3階に貸室(3部屋)があります。 活動センターは、毎月第2土曜日と年末年始を除く毎日、9時から21時30分まで利用できます。

※1 「支出額」は、中部保健福祉サービスセンター、社会福祉協議会、福祉喫茶の経費を含みます。
上記のほか、平成28年度支出には工事費 1,172千円が計上されています。

※2 「利用者数」は、市民活動センターの貸室利用者数。

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説 明
	機能	建物	
1 茅野市ひと・まちプラザ	継続	継続	<p>【機能】 パートナーシップのまちづくりを進め、市民活動の拠点施設として重要な役割を担うことから継続する。</p> <p>【施設】 平成 28 年 (2016 年) に新耐震基準で建設した建物であり、予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図る。</p> <p>【管理運営】 現在の市と市民等、社会福祉協議会が参加した運営委員会方式による運営方式について、将来的には市民主体の運営方法への移行を目指す。</p>

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
茅野市ひと・まちプラザの長寿命化	パートナーシップのまちづくりを推進する拠点施設として継続する。施設は耐震基準を満たしていることから、予防保全を含め必要な改修を行い、長寿命化を図る。	→ 検討		検討結果に基づく対応	-----→	
茅野市ひと・まちプラザの管理運営	市民や市民団体等の活動拠点としての位置づけを踏まえ、現在の三者による管理運営方式から、市民主体の運営方法への転換を進める。その際、開館日、開館時間についても見直しを図るとともに、受益者負担の適正化について検討する。 貸室の有効活用を図るため、各部屋の稼働状況を精査し、市民活動の支援に支障のない範囲で、他の用途への活用を含め有効活用の方法を検討する。	→ 検討			検討結果に基づく対応	-----→

10 衛生施設

(1) 衛生施設 【所管：美サイクルセンター】

ア 施設概要及び現状と課題

3R（発生抑制・再使用・再利用）の推進を図り、循環型社会形成のための拠点施設として設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)※1	収入額(千円)	差引収支(千円)	処理量	利用状況
①古紙類等梱包施設	米沢	S49	42	38	1,344	直営	-	12,829	14,821	1,992	831トン	市内のリサイクルステーションから収集された古紙類とペットボトルを圧縮梱包して保管・売却(831トン)しています。
②茅野市清掃センター不燃物処理場	北山	S54	37	31	419	直営	-	30,430	762	▲ 29,668	793トン	収集された不燃性粗大ごみ(缶類、びん類、布類、乾電池、蛍光灯など)の中間処理等を行います。
③茅野環境館	ちの	S52	39	50	457	直営	-	2,623	0	▲ 2,623	24700点	環境に関する情報提供や生活環境に関する相談、リサイクルバックや環境絵本の販売、生ごみ処理機の補助金申請
④蓼科有機センター	玉川	H19	9	17	891	直営	-	8,568	0	▲ 8,568	-	保育園、小中学校の給食から出る生ごみのたい肥化

※1 上記のほか、平成28年度支出には工事費 465千円(③茅野環境館)が計上されています。

イ 施設評価

対象施設	当面10年後の方向性		説明
	機能	建物	
1 古紙類等梱包施設	廃止	廃止	【機能・施設】 諏訪南行政事務組合で新たなリサイクルセンターの整備を進めていることから廃止する。
2 茅野市清掃センター不燃物処理場	廃止	廃止	
3 茅野環境館	検討	検討	【機能】 リユース・リサイクルを中心とした環境分野の活動拠点としての機能は必要なものの、民間のリサイクル事業者の進出や当施設におけるリサイクル品の有効利用の実態などを精査し、今後のあり方について検討する。 【施設】 昭和52年(1977年)に旧耐震基準で建設した建物で、建築から39年経過し、耐震対策は未実施となっている。施設の老朽化が進んでいることから、廃止を含めて検討する。
4 蓼科有機センター	検討	検討	【機能】 生ごみを回収しゴミの減量化に役立てるため、市内小中学校や保育園の給食残さの回収、堆肥化と一般家庭の生ごみ回収をモデル事業で実施してきたものの、公共施設の給食残さの回収と堆肥化のみの事業展開になっていることから、センターの事業のあり方について検討する。 【施設】 上記の検証結果に基づき、施設の今後のあり方を検討する。

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①古紙類等梱包施設 ②茅野市清掃センター不燃物処理場の建替え	諏訪南行政事務組合による広域的な展開に移行することとして、当該施設については廃止する。	2020年度で廃止				
③茅野環境館の事業のあり方	当該施設は耐震対策を講じてなく、老朽化が進んでいることから、市の委託業務内容を含め、リユース・リサイクルの活動拠点としての事業のあり方、経営のあり方、場所の確保について検討する。	検討		検討結果に基づく対応	----->	
④蓼科有機センターのあり方	市内小中学校及び保育園からの生ごみの堆肥化事業に変更していることから、改めて、たい肥化事業のあり方、蓼科有機センターの施設及び管理運営のあり方について検討する。	検討		検討結果に基づく対応	----->	

(2) 墓地施設 【所管：市民課】

ア 施設概要及び現状と課題

墓地利用者が碑石を建て墓参り及び休憩するための場所として設置しています。また、トイレは墓地利用者だけでなく、公園利用者も含めて利用可能な施設として設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)※1	収入額(千円)※2	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①茅野市永明寺山公園墓地	ちの	S50	41	24	107	直営	-	7,982	3,693	▲ 4,289	1,483	墓地1,243区画、合葬式墓地240柱が埋蔵可能

※1 上記のほか、平成28年度支出には墓地周辺木伐採補助金 4,994千円が計上されています。

※2 上記のほか、平成28年度収入には墓地永代使用料 6,530千円が計上されています。

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説 明
	機能	建物	
1 茅野市永明寺山公園墓地	継続	継続	<p>【機能】 公衆衛生を確保する観点から継続する。</p> <p>【施設】 墓地の区画数は現状維持とする。合葬式墓地の追加整備については、市内寺院で設置している合葬式墓地の状況を踏まえ、市民のニーズの状況を把握し、今後のあり方を検討する必要がある。 管理棟は、昭和 50 年（1975 年）に旧耐震基準で建設した建物で、建築から 41 年経過している。耐震対策を講じていないこと、当初の利用目的の変化により利用実態が少ないことから、現在の利用団体等と今後の利用目的の変更や廃止を含めた施設のあり方について協議する。</p>

			【管理運営】 現行どおり。
--	--	--	------------------

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
茅野市永明寺山公園墓地の修繕	墓地・合葬式墓地については今後も継続する。今後の墓地需要に対しては、合葬式墓地により対応する。手摺りの設置及び危険個所の修繕を計画的に進める。	計画に基づく対応				
茅野市永明寺山公園墓地管理棟のあり方	管理棟は、耐震対策を講じていないこと、当初の利用目的の変化により利用実態が少ないことから、今後の施設のあり方について廃止を含めて協議する。	検討・協議		検討結果に基づく対応		
使用料及び管理料のあり方	永代使用料及び管理料について、収支状況を分析し使用料等のあり方について検討する。	検討		検討結果に基づく対応		

(3) 公衆トイレ施設 【所管：観光まちづくり推進課、都市計画課】

ア 施設概要及び現状と課題

駅の利用者や観光客の利便性を図るため、公衆トイレを設置しています。

イ 施設評価

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	支出額(千円)※1	収入額(千円)	差引収支(千円)	当面10年後の方向性		説明
										施設の機能	施設の性能	
① 麦草峠駐車場公衆トイレ ※2	北山	S60	31	24	34	直営	9,033	0	▲ 9,033	継続	継続	【機能・性能】 観光者や駅利用者への利便性の向上及び公衆衛生の確保の観点から継続する。 【管理運営】 今後も地元自治会や観光協会、観光事業者の自主的な管理を継続する。(駅など一部の施設は除く)
② 蓼科湖公衆トイレ	北山	S63	28	24	35	直営						
③ 白樺湖南側駐車場公衆トイレ	北山	H2	26	24	35	直営						
④ 白樺湖入口公衆トイレ	北山	H4	24	50	25	直営						
⑤ 蓼科中央高原観光案内所横公衆トイレ	北山	H5	23	50	24	直営						
⑥ プール平駐車場公衆トイレ	北山	H7	21	50	30	直営						
⑦ 奥蓼科登山口公衆トイレ	豊平	H8	20	50	30	直営						
⑧ 奥蓼科公衆トイレ	豊平	H14	14	50	13	直営						
⑨ 横谷観音駐車場前公衆トイレ	北山	H15	13	24	127	直営						
⑩ 杖突峠晴ヶ峰公衆トイレ	宮川	H18	10	24	33	直営						
⑪ 天狗岳登山口バイオトイレ	豊平	H17	11	22	5	直営						
⑫ 蓼科山登山口バイオトイレ	北山	H28	0	38	17	直営						
⑬ 桜平中駐車場トイレ	豊平	H29	0	24	16	直営						
⑭ 青柳駅公衆トイレ ※2	金沢	H19	9	50	26	直営						


⑮白樺湖観光センター下公衆トイレ	北山	S58	33	50	52	直営						
⑯八子ヶ峰案内所内公衆トイレ	北山	H2	26	24	16	直営						
⑰八ヶ岳山荘公衆トイレ	玉川	H9	19	24	26	直営						
⑱車山山頂バイオトイレ	北山	H28	0	50	6	直営						
⑲茅野駅西口公衆トイレ ※2	ちの	H1	27	50	49	直営	1,527	0	▲ 1,527			
⑳茅野駅東口公衆トイレ ※2	ちの	H17	11	38	34	直営						

※1 平成28年度支出には、⑲茅野駅西口公衆トイレ、⑳茅野駅東口公衆トイレの清掃委託費用が含まれていません。

上記のほか、平成28年度支出には工事費 2,451千円が計上されています。

※2 清掃業務を委託しているトイレは、①茅草峠駐車場公衆トイレ、⑭青柳駅公衆トイレ、⑲茅野駅西口公衆トイレ、⑳茅野駅東口公衆トイレ

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度	
①～⑳公衆トイレの更新	観光者及び駅利用者の利便性の向上と公衆衛生の確保の観点から継続し、施設の老朽化の状況を精査し、必要な修繕を行い引き続き使用するか、建替えを進める。						必要な修繕・建替え

11 観光・産業施設

(1) 観光施設 【所管：観光まちづくり推進課】

ア 施設概要及び現状と課題

市民の健康増進と観光振興を図るため、白樺湖温泉すずらんの湯を設置しています。





施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①茅野市白樺湖温泉総合施設	北山	H8	20	39	2,070	指定管理	-	8,609	8,073	▲ 536	80,731	開館日・開館時間は、基本的に無休で、毎週火曜日は12時から21時まで、これ以外は10時から21時まで

イ 施設評価

対象施設	当面10年後の方向性		説明
	機能	建物	
1 茅野市白樺湖温泉総合施設	継続	継続	<p>【機能】 茅野市における観光拠点施設のひとつとして位置付けられていることから、利用実態を精査し、有効性を確認したうえで、当面継続する。</p> <p>【施設】 平成8年(1996年)に新耐震基準で建設した建物で、建築から20年経過している。必要な改修を行い、耐用年</p>

		<p>数まで使用し、その後のあり方については、別途検討する。</p> <p>【管理運営】 指定管理者制度での管理運営を継続する。指定管理仕様書の内容を精査し、モニタリング評価を徹底する。利用実態を精査し、開館日・開館時間を見直すなど管理運営の効率化を図る。</p>
--	--	--

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度	
①茅野市白樺湖温泉総合施設の長寿命化	白樺湖の活性化と観光振興を図るためには必要不可欠な施設であることから継続し、予防保全を含め計画的な改修を行い長寿命化を図る。	 劣化診断、保全計画の検討・策定			計画に基づく対応		
①茅野市白樺湖温泉総合施設の指定管理の点検	観光客の利用促進とサービスの向上、経営の効率化を図るため、指定管理仕様書の点検とモニタリング評価を行い、運営方法や事業展開、指定管理者の公募方法について検討する。	 検討			検討結果に基づく対応		

(2) 商業施設 【所管：管理課】

ア 施設概要及び現状と課題

高原リゾート都市の玄関口のイメージアップに加え、茅野駅周辺の都市機能・都市環境の向上を図り、快適な街づくりと健全な発展のため、茅野駅西口の再開発事業にあわせて商業ビルを設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①ベルビア	ちの	S62	29	50	22,092	委託	56,136	8,391	▲ 47,745	-	茅野駅前ベルビア出張所、茅野市こども館0123広場、茅野市こども館CHUKOらんどチノチノ、茅野市コワーキングスペース、どっこいしょ広場、茅野市営地下駐車場、小津映画祭展示コーナー、職業相談所を設置運営しているほか、ファッション6店、グルメ・フード5店、ビューティー・コスメティック2店、生活雑貨・カルチャー6店、病院・薬3店、その他1店のスペースを賃貸しています。

イ 施設評価

対象施設	当面10年後の方向性		説明
	機能	建物	
1 ベルビア	継続	継続	<p>【施設の機能】 茅野市における重要な施策を展開する場所として、また、商業振興の拠点施設として機能していることから、空きスペースの有効活用を図りながら継続する。</p> <p>【施設の性能】 昭和62年(1987年)に新耐震基準で建設した建物で、建築から29年経過している。予防保全を含め計画的な</p>

			改修を行い、長寿命化を図る。 【管理運営】 現行どおり。
--	--	--	------------------------------------

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度	
①ベルビアの長寿命化	他の区分所有者と協議しながら、予防保全を含め必要な改修を行い長寿命化を図る。	劣化診断、保全計画の検討・策定			計画に基づく対応	----->	
①ベルビアの有効活用	市が所有する専用床の空きスペースについて、テナントの誘致など民間活力の活用を図る。	検討			検討結果に基づく対応	----->	

(3) その他の産業施設 【所管：商工課】

ア 施設概要

市内外の企業、大学、団体等の知見やネットワークの活用と相互の交流を促進することにより、新たな経済活動の創出及び育成を図り、地域経済の活性化に資するために、平成30年（2018年）3月に設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①茅野市コワーキングスペース	ちの	S62	29	50	584	-	-	-	-	-	-	オフィススペース10区画、ブース6区画、デスクシェアスペース22席、ミーティングルーム4部屋

イ 施設評価

対象施設	当面10年後の方向性		説明
	機能	建物	
1 茅野市コワーキングスペース	継続	継続	【機能】 学生、市民などの起業・創業支援や、新たなビジネスチャンスを提供するなど、今後のまちづくりに重要な役割を果たすことが期待できることから継続する。 【施設】 施設はベルビア全体で対応する。 【管理運営】 民間主体で運営する。

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度	
①茅野市コワーキングスペースのあり方	オフィススペースなどの稼働状況のほか、学生や市民などの起業・創業、新たなビジネスチャンスの効果などを検証し、事業のあり方、指定管理者の募集方法などについて検討する。				検討結果に基づく対応		

12 その他施設

(1) 駐車場施設 【所管：都市計画課】

ア 施設概要

茅野駅西口土地区画整理事業に伴うまちづくりの一環として、弥生通・駅西口商店街利用者の利便性を図るため茅野市営茅野駅前駐車場を、また、再開発ビル（ベルビア）の利用者のための駐車場として茅野市営地下駐車場を設置しています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	支出額(千円)※	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用台数(台)	利用状況
①茅野市営茅野駅前駐車場	ちの	H21	7	31	567	直営	2,616	3,132	516	39	1階部分(18台)は金融機関の利用者駐車場、2階部分(21台)は駅前商業会店舗利用者用駐車場(8時～20時は開放、月極契約あり)
②茅野市営地下駐車場	ちの	S62	29	50	7,581	直営	15,395	16,325	930	213,692	地下1階109台、地下2階131台の計240台収容可能、このうち、月極利用契約台数は90台

※ 上記のほか、平成28年度支出には工事費 12,933千円(②地下駐車場)が計上されています。

イ 施設評価

対象施設	当面10年後の方向性		説明
	機能	建物	
1 茅野市営茅野駅前駐車場	継続	譲渡	【機能・施設】 民間から土地を借用して駐車場を整備し、これを金融機関等に転借しているものの、被借受人が有料で駐車場を運営していることから土地の地権者との関係について整理したうえで、地元商店街への移譲について協議する。
2 茅野市営地下駐車場	継続	継続	【機能】 ベルビア利用者の利便性を確保するために必要な施設であり、継続する。 【施設】 施設はベルビア全体で対応する。 【管理運営】 時間貸し駐車場の利用実態を精査するとともに、西口駅前広場リニューアル事業にあわせ、月極駐車場への転

			換や民間活力を活用した管理運営方法について検討する。
--	--	--	----------------------------

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①茅野市営茅野駅前駐車場の譲渡	地域の活性化やまちの賑わい創出にも役立っているため茅野駅前駐車場は継続するものの、民間から土地を借用して駐車場を整備し、これを金融機関や地元商業会に転貸し、被借受人が有料で駐車場を運営していることから、土地の地権者との関係について整理したうえで、地元商業会への譲渡について協議を進める。	→ 検討・協議		協議結果に基づく対応	-----→	
②茅野市営地下駐車場の月極駐車場への転換	ベルビアや商店街利用者への利便性が高いことから地下駐車場は継続し、駐車場内の設備等については、計画的に改修する。 時間貸し駐車場の回転率が低下している状況にある一方、月極駐車場は満車の状況が続いていることから、他の市営駐車場の利用状況等を精査し、民間駐車場の動向も考慮するなかで、月極駐車場の利用拡大を検討する。	→ 検討		検討結果に基づく対応	-----→	
②茅野市営地下駐車場の効率的・効果的な運営	効果的かつ効率的に経営を図るため、民間活力を活用した管理運営方法について検討する。	→ 検討		検討結果に基づく対応	-----→	

(2) 情報プラザ施設 【地域戦略課】

ア 施設概要及び現状と課題

市民の情報格差の軽減に寄与する活動の場や機会を提供し、地域情報化を推進するための拠点施設として設置しています。



施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①茅野市情報プラザ	豊平	H2	26		171	直営	臨2.5	4,142	521	▲ 3,621	4,688	施設の開館日・開館時間は、年末年始と毎週月曜日(祝日及び振替休日の時は翌日)、大学の都合による臨時休館日を除く毎日、10時から18時まで

イ 施設評価

対象施設	当面10年後の方向性		説 明
	機能	建物	
1 茅野市情報プラザ	検討	—	【機能】 地域情報化を推進するための拠点として、当面継続するものの、利用者が減少し、固定化していること、当該分野への民間参加が進んでいること、今後、情報関係機器の更新を控えていることから、情報プラザのあり方について、管理運営方法を含めて検討する。

			【施設】 大学の施設。
--	--	--	----------------

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①茅野市情報プラザのあり方	利用者が減少し、固定化している実態があること、情報関係機器の更新を控えていることなど総合的な観点から、茅野市情報プラザの今後のあり方について、管理運営方法を含めて検討する。			検討結果に基づく対応 		

(3) 普通財産 【所管：商工課、高齢者・保険課、地域福祉課、観光まちづくり推進課】

ア 施設概要及び現状と課題

市が公共施設を取得する場合、一定の行政目的をもって取得することが原則ですが、この行政目的を達成し、引き続き当該施設が使用可能な場合、他の公共目的に転用するか、民間等に貸付け、または譲渡して有効活用を図ることにしています。

施設名	地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用者数(人)	利用状況
①旧職業訓練校	中大塩	H4	24	38	1,239	貸付	1,500	0	▲ 1,500	165	平成29年(2017年)3月末をもって訓練校を閉校
②宅老所なごみの家	宮川	S38以前	53超	24	257	貸付	0	180	180	13	個人から寄付された古民家を改修してNPO法人に貸付
③-1 あすなろセンター	ちの	H2	26	31	485	貸付	0	240	240	25	就労継続支援事業所B型事業を運営する茅野市社会福祉協議会へ貸付
③-2 ピアあすなろ	ちの	H24	4	15	63	貸付					
④-1 ふくろう玉川	玉川	S45	46	24	127	貸付	0	240	240	20	旧神之原第教職員住宅を用途廃止し、NPO法人ふくろうSUWAへ貸付け
④-2 ふくろう玉川	玉川	S45	46	24	134	貸付					
④-3 ふくろう玉川	玉川	S63	28	24	128	貸付					
⑤移住体験住宅	玉川	H4	24	22	77	貸付	0	120	120	13	移住を検討している方が、生活環境や自然環境の確認や就職活動や物件探しの拠点として活用するために提供

イ 施設評価

対象施設	当面 10 年後の方向性		説 明
	機能	建物	
1 旧茅野高等職業訓練校	当面 現行どおり	当面 現行どおり	<p>【機能】 当面現状を維持するものの、将来の有効活用について、他の政策分野への転換を含めて検討する。</p> <p>【施設性能】 平成 4 年（1992 年）に新耐震基準で建設した建物で、建築から 24 年経過している。必要な改修を行い、耐用年数まで使用する。</p> <p>【管理運営】 当面現行どおり。</p>
② 宅老所 なごみの家	継続	廃止	<p>【機能】 高齢者の生きがい対策・健康づくりの機能として重要なことから継続する。</p> <p>【施設】 昭和 38 年（1963 年）以前の建物で、利用者の安全確保の面からも施設は廃止する。 当該施設で行っているデイサービス機能については、他の公共施設の活用を含め、別途検討する。</p>
③-1 あすなろセンター	継続	譲渡	<p>【機能】 障害者総合支援法に基づく、就労継続支援 B 型事業については、障害者の日常生活にとって必要不可欠な制度・事業であることから継続する。</p> <p>【施設】 障害者総合支援法に基づき、事業収入を得て、事業者が自立して経営できることから、民間事業者に譲渡する。</p>
③-2 ピアあすなろ	継続	譲渡	<p>【機能・施設】 利用実態が「就労継続支援 B 型事業」として使用されていることから、隣接する「あすなろセンター」と一体で譲渡する。</p>
④-1, 2, 3 ふくろう玉川	継続	譲渡	<p>【機能】 障害者総合支援法に基づく居宅介護事業、生活介護事業、就労継続支援 B 型事業については、障害者の日常生活にとって必要不可欠な制度・事業であることから継続する。</p> <p>【施設】 障害者総合支援法に基づき、事業収入を得て事業者が自立して経営できること、当該施設を利用して障害福祉サービスを提供していることから、民間事業者に譲渡する。</p>
⑤ 移住体験住宅	継続	継続	<p>【機能・施設・管理運営】 茅野市の移住・定住対策としての一環で実施していることから、当面継続するものの、一定の時期を捉えて成果を検証し、今後のあり方を検討する。</p>

ウ 今後の方針とスケジュール

課題事項	対応方針	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～2028年度
①旧茅野高等職業訓練校の活用	茅野市総合サービス(株)との間で締結している使用貸借契約の満了まで、現行どおりとする。国等の補助金の返還や他の政策分野への転換などについて検討する。	→ 検討		検討結果に基づく対応	-----▶	
②宅老所なごみの家の移転等	事業は今後も継続するものの、施設は建築から50年を超えており、利用者の安全確保の面からも、施設は廃止し、事業については、他の公共施設の活用を含め、NPO法人と移転等について協議・検討する。	→ NPO法人との協議		協議結果に基づく対応	-----▶	
③-1あすなろセンター ③-2ピアあすなろの譲渡	障害者の日常生活にとって必要不可欠な制度・事業であり継続するものの、障害者総合支援法に基づき、事業収入を得て事業者が自立して経営できることから民間事業者への譲渡を協議する。	→ 民間事業者との協議		協議結果に基づく対応	-----▶	
④-1, -2, -3ふくろう玉川の譲渡	居宅介護（ホームヘルプ事業）や、障害者の生活介護（通所事業）、作業訓練や生活訓練等を行う就労継続支援B型事業については、障害者の日常生活にとって必要不可欠な制度・事業であり継続するものの、障害者総合支援法に基づき、事業収入を得て事業者が自立して経営できることなどから、施設については民間事業者への譲渡を協議する。	→ 民間事業者との協議		協議結果に基づく対応	-----▶	
⑤移住体験住宅の事業のあり方	施設の老朽化と利用状況を見据えながら事業のあり方について検討し、今後も継続していく場合は、事業主体・施設の所有のあり方、情報提供・募集方法、運営体制の整備を含めた管理運営方法などについて検討する。	→ 検討		検証結果に基づく対応	-----▶	